2025年度
第4回業務委員会
資料№11-2

日本LPガス協会
Japan LP Gas Association

LPガス産業
2050ミッション

2025年11月

2050
MISSION



はじめに

近年、エネルギー業界を取り巻く環境は、地球温暖化に伴う気候変動問題に直面する中、自然災害の激甚化が進み、国家間の紛争により地政学的リスクが常態化しつつある等、不確実性に満ち溢れている状況にあります。

2025年2月に政府が閣議決定した第7次エネルギー基本計画において、我が国のエネルギー安全保障及び国土強靭化の観点から、『LPガスの安定調達と供給体制確保は重要である』旨、初めて明確に示されました。また、LPガスは『可搬かつ貯蔵可能な』、『災害時には病院等の電源や避難所等の生活向上に資する「最後の砦」としても重要なエネルギー源』とも位置付けられました。加えて、グリーンLPガス開発及びrDMEを混合した低炭素LPガスの導入を、次世代エネルギーとして促進していくことも明示されています。

こうした状況を踏まえ、あるべき姿として、「LPガス産業2050ミッション <お客様・社会との約束>」を策定し、3つのミッションを掲げました。

そして、その具体的な達成に向けて、今後5年間の行動計画となる「LPガス産業2030アジェンダ」を策定し、これに示す6つのアクションを着実に実行して参ります。

お客様をはじめ、社会の多くの方々に、まだまだ知られていない「LPガスの魅力と価値」をより深くご理解頂けることを、念願しております。加えて、我々は、2050年のカーボンニュートラル実現に貢献することをここに宣言いたします。

2025年11月
日本LPガス協会

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

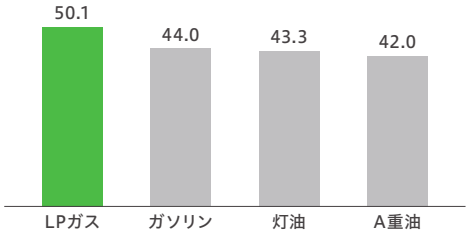
頼れるエネルギー『LPガス』

LPガスはみなさまの生活や地域を支えるかけがえのないエネルギーです。

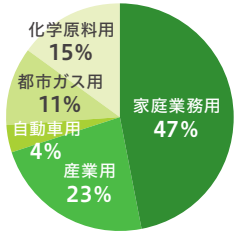
①ご家庭・産業・地域を支える高効率な分散型エネルギーです

○高カロリーで効率の良いエネルギーです。
○運搬がしやすく、長期保存も可能、全国で様々な用途にご利用いただいています。

■重量当たりの熱量（MJ/kg）



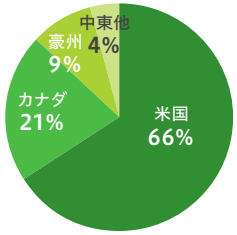
■用途別需要シェア（2024年度）



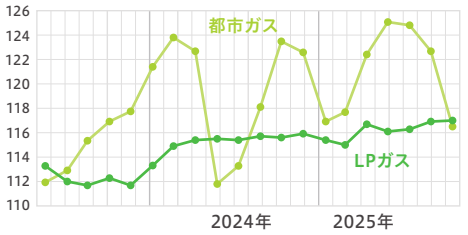
②常に安定的に供給可能なエネルギーです

○地政学的リスクの低い輸入先を確保しています。
○他のエネルギーに比べ価格変動が小さく安定しています。

■輸入先シェア（2024年）



■価格推移（消費者物価指数2020年＝100）



③災害に極めて強いエネルギーです

○平時も災害時においても変わらず利用可能です。
○万が一の際も、素早い復旧体制を備えています。

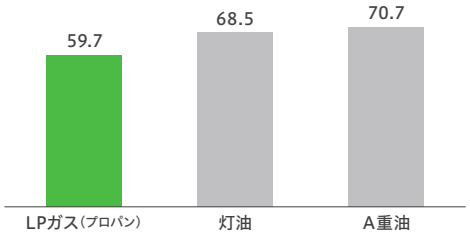
■LPガスは全国各地に分散して在庫を確保＝災害時も供給可能



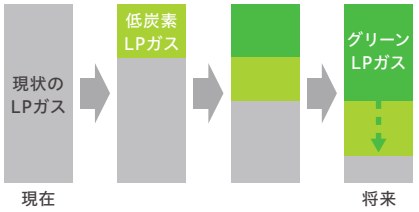
④クリーンなエネルギーです

○重油・灯油等に比べてCO_2排出量が少ないエネルギーです。
○将来に向け、グリーンLPガスの開発を進めています。

■CO_2排出係数（g-co2/MJ））



■LPガスのグリーン化プロセス



Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

LPガス産業を取り巻く外部環境の変化

国際環境の変化



世界各国の政局不安・紛争勃発による
地政学的リスクの増大



地球温暖化の進行・深刻化



人口・GDP増加に伴う水・食糧・資源不足と
獲得競争の激化



パンデミック（爆発感染）リスクの持続



電力をはじめとするエネルギー
総需要の増大



次世代技術の出現
生成AI/次世代コンピューティング/バイオテクノロジー/脱炭素技術 等

国内環境の変化



人口減少・少子高齢化による需要減少・
労働力不足・特に地方の過疎化の進展



自然災害の激甚化・頻発化、
大規模地震発生リスクの増大



社会インフラの老朽化・維持コストの増大



エネルギー安定供給リスクの高まり
地政学的リスク増大/電力需要増大/再生可能エネルギー不足等



コンプライアンス意識の高まり
品質・雇用・不正問題等に厳しい眼

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

LPガス産業の課題と2050ミッション

●LPガス産業を取り巻く外部環境変化と課題を踏まえ、「2050ミッション〈お客様・社会との約束〉」を策定しました。

LPガス産業の課題

継続する地政学的リスクと国際市況変動リスク
○他エネルギーに比して優位も、更なる安定輸入・供給体制づくり

災害時における供給難易度の高まり
○自然災害の激甚化・頻発化への対応
○南海トラフ地震・首都圏直下型地震等への対応

国内需要の減少
○少子高齢化・過疎化による需要減少
○LPガス事業者間・他エネルギーとの競争激化

事業基盤の維持・強化
○少子高齢化による労働力不足、保安等ノウハウ消失、後継者不足への対応
○インフラ老朽化への速やかな対応（集約・高度化、維持コスト低減）
○コンプライアンス遵守の徹底（商慣行是正等）
○効率化・DXの早期推進

カーボンニュートラル化への対応
○グリーンLPガス開発・低炭素化の着実な実行（遅延は環境対応コスト増、市場退場リスクに）

2050年に向けた基本的な考え方

■エネルギーとしての役割
○これまでと変わらず、ご家庭・産業・地域を支えるエネルギーであり続ける
○今後も継続する地政学的リスクに左右されない、強靱かつ柔軟な供給体制を磨き上げる
○将来的な電力需要増大見通しに対し、熱エネルギーとして補完、連携し、エネルギーミックスの最適化に貢献する

■技術／サービス
○新たな技術の活用により、LPガスの特長を活かしたエネルギーサービスの提供を継続する

■供給／レジリエンス
○全国にLPガスを安心・安全に供給できる効率的な体制を堅持する
○大規模災害時にも供給を絶やさない設備・体制を維持する
○被災時の生活を守る設備をこれまで以上に普及させる

■カーボンニュートラル対応
○グリーンLPガスの開発を加速し、化石燃料からの脱却を図る
○トランジション期においても、たゆむことなく現実的な低炭素化施策に積極的に取り組む

LPガス産業 2050ミッション〈お客様・社会との約束〉

ミッション 1

平時も災害時においても、常にご家庭へLPガスを安定供給する体制を堅持する

ミッション 2

常にお客様に選ばれるエネルギーサービスを提供し、持続可能な産業として発展する

ミッション 3

社会的ニーズに応え、LPガスによるカーボンニュートラル化を着実に実行する

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

ミッションと各取り組み

ミッション１：平時も災害時においても、常にご家庭へLPガスを安定供給する体制を堅持する

①エネルギーの安全保障を担う安定輸入体制の維持
②災害に強い国内供給網の構築と日々の安全・安心の確保

ミッション２：常にお客様に選ばれるエネルギーサービスを提供し、持続可能な産業として発展する

①多様なニーズに応えるエネルギーサービスの提供
②人口減少社会に対応した事業基盤の強化と将来成長の実現

ミッション３：社会的ニーズに応え、LPガスによるカーボンニュートラル化を着実に実行する

①2050年に向けたカーボンニュートラル社会実現への貢献
②グリーンLPガスの開発・輸入と実用化の推進
③トランジション期におけるカーボンニュートラル策の推進

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

①エネルギーの安全保障を担う安定輸入体制の維持

国際的な紛争や政治情勢等の地政学リスクに左右されないLPガスの輸入体制を、将来にわたり維持する。

調達先の多様化

○俯瞰的視点から調達リスクを捉え、将来にわたり国際的紛争や政治情勢による供給制限等の影響を最小化することに努める。

柔軟な輸入体制の確保

○緊急時の迂回ルートの確保、他地域からの輸入切り替え等、万が一に備えた柔軟な輸入体制を構築する。

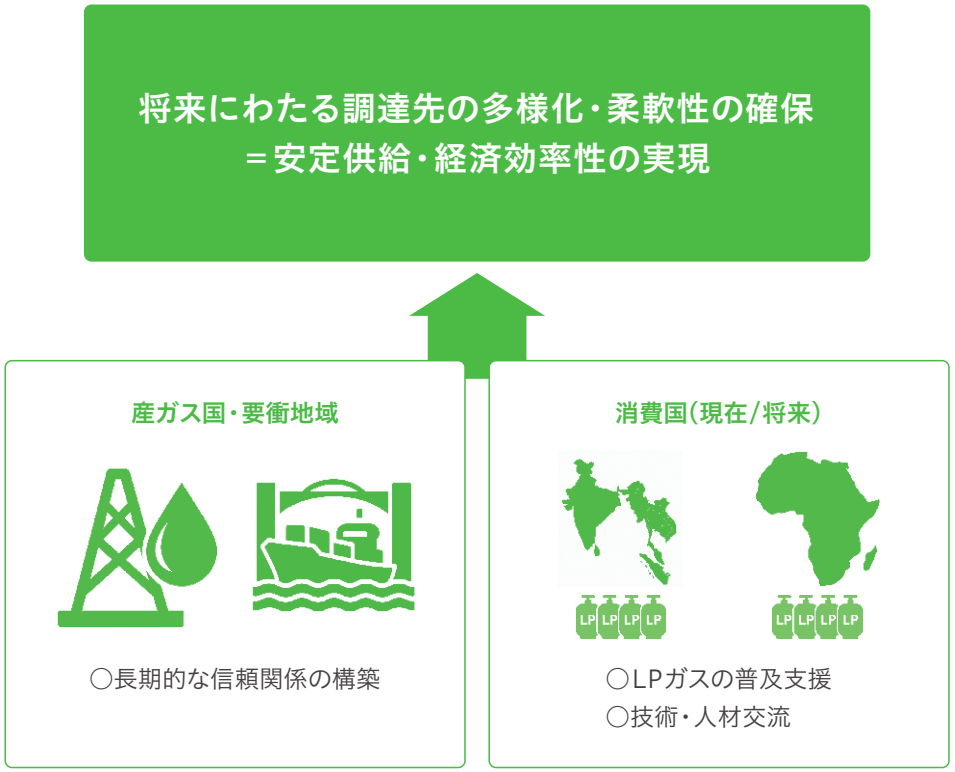
産ガス国・要衝地域との強固な関係構築

○複数の産ガス国や輸送上の要衝地域と長期的な信頼関係の構築に努める。

アジアをはじめとする消費国への支援・連帯

○今後、消費の中心となるアジアや将来的にはアフリカとの関係を、普及支援や人材交流等を通じて構築し、産ガス国への交渉力のある国際体制を築く。

■安定輸入のための施策イメージ



Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

②災害に強い国内供給網の構築と日々の安全・安心の確保

大規模災害に備え、国内供給網のさらなるレジリエンス強化を図り、災害時に地域の生活を守る非常用電力・ガス設備の普及に努める。
安心・安全にLPガスを引き続きご利用いただくため、デジタルシステムと人とのハイブリッド保安システムを構築していく。

国内供給網のレジリエンス強化

○広域災害を想定した輸入基地・配送拠点及び輸送体制の強化を図る。

災害時も生活を守るエネルギー設備の積極普及

○避難所等へのLPガス空調や発電設備の導入を促進し、被災時においても快適な避難生活環境が確保できるよう貢献する。

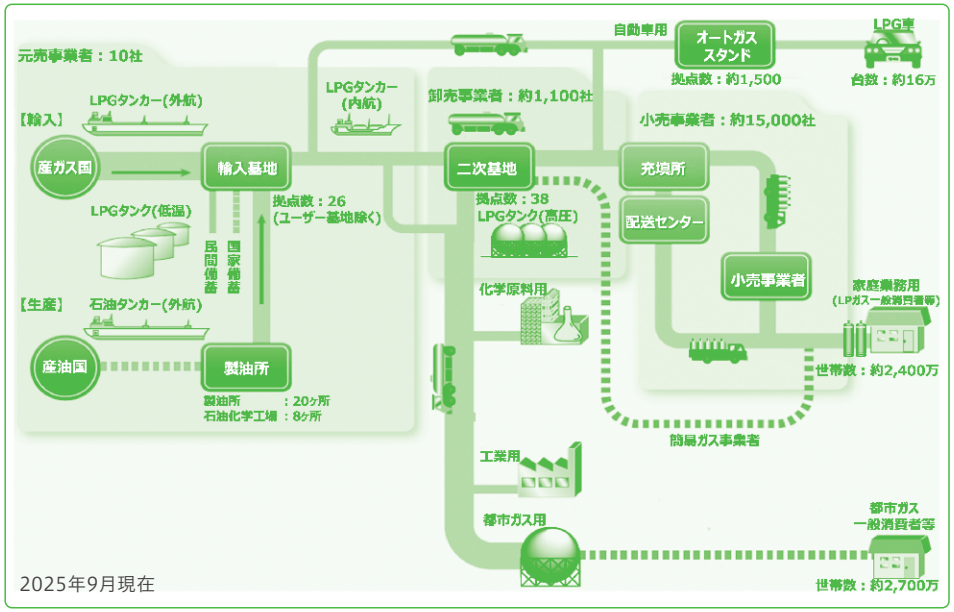
高度で効率的な供給・安全監視網の整備

○スマートメーターやAI予測の活用等により、災害への迅速な対応強化、日々の保安業務の効率化と強化を図り、安心・安全な供給網の維持に努める。

平時・災害時における保安人材の育成

○日々の保安活動と災害復旧対応を支えるプロフェッショナル人材を育成する。

■LPガスの供給体制と災害対策例



一次基地・二次基地
○老朽化設備の更新、災害対応力の強化
○需要と災害対応を考慮した基地の最適配置
○広域災害を想定した訓練・シミュレーションの実施

充填所・小売配送
○デジタル・AI活用による保安の効率化・強化
○災害時の生活を守る分散型LP設備の導入拡大（災害対応バルク非常用発電機／GHP等）

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

①多様なニーズに応えるエネルギーサービスの提供

**高カロリー・分散型・クリーンというLPガスの特性を活かし、ご家庭・産業・地域のニーズに応えるエネルギーサービスの提供を継続する。
新たな技術開発・用途開発とその実用化に挑戦し、社会課題の解決に貢献する。**

高効率LPガス機器の普及拡大

○産業用・家庭用の高効率なLPガス機器の普及拡大と新たな商品開発に引き続き取り組み、省エネと環境負荷低減を推進する。

LPガスへの燃料転換の推進

○A重油・灯油焚きボイラーから低炭素なLPガス焚きへの転換を様々な産業で着実に進め、社会全体の低炭素化に貢献する。

エネルギーミックスの最適化への貢献

○エネファーム等発電機能を持つLPガス機器を活用し、地域電力システムとの連携による電力ピークの抑制、エネルギー利用の最適化に貢献する。

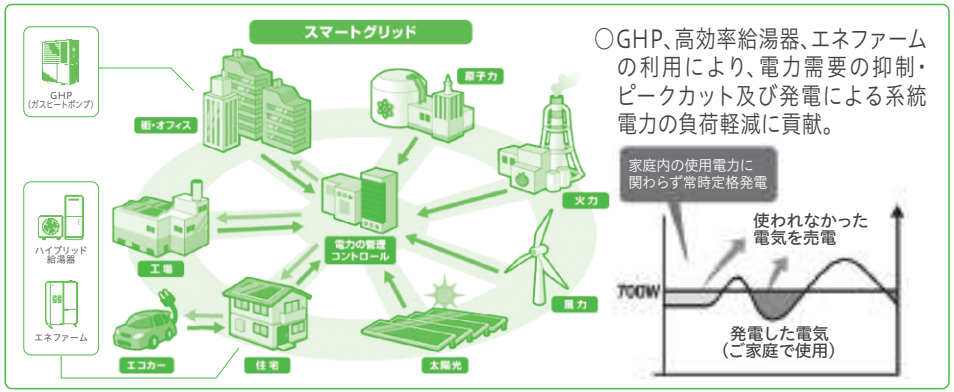
新たな需要創造のための取り組みの推進

○クリーンなLPガス排気を利用した農業向けCO_2リサイクル施用の普及、船舶燃料としての利用検討、環境負荷の低い冷媒としてのプロパンの代替活用等、LPガスならではの新たな需要開発を進める。

■家庭用・業務用・産業用LPガス機器



■スマートグリッドにおけるLPガス機器の活用



Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

②人口減少社会に対応した事業基盤の強化と将来成長の実現

LPガスが支える地域の人口減少・少子高齢化が予想される中、将来にわたりお客様にLPガスを届けられる持続可能な産業として必要な取り組みを、業界一丸となって取り組む。

地域社会との連携、貢献

○地域を支えるエネルギー供給者、安定した雇用を創出する産業として、地域社会と連携して社会課題解決に貢献する。

事業基盤の強化と効率化

○DXの推進、事業者間や他事業者との連携・協業により、事業の効率化を進め、需要減少に負けない経営体制づくりを図る。

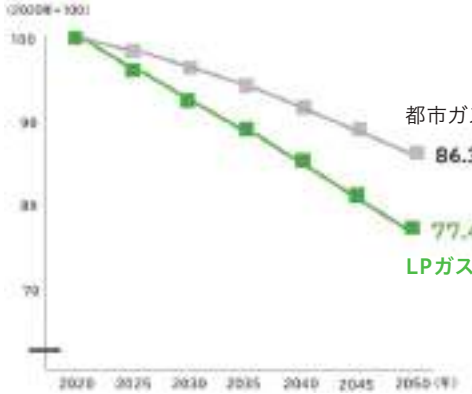
グローバル産業としての事業発展

○世界のLPガス需要が将来的に拡大すると予測されている中で、海外展開をはじめとするLPガス事業の拡大に取り組み、将来に夢のある産業としての地位を確立していく。

社会からの信頼の形成、イメージの向上

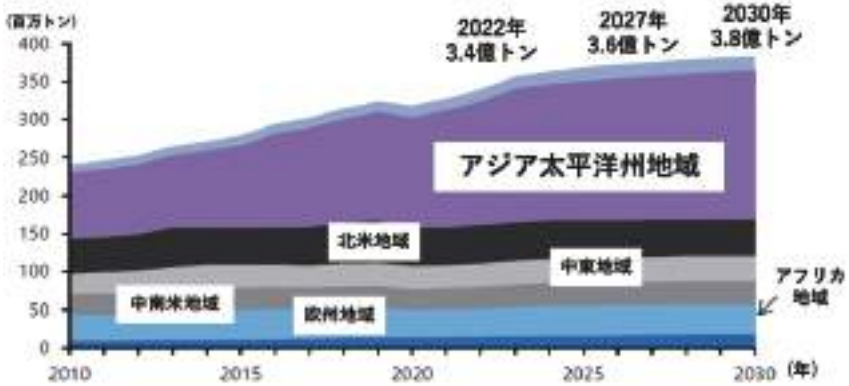
○取引の適正化・料金の透明化の徹底を起点に、LPガスがお客様に信頼され選ばれるエネルギーであり続けるために、必要な課題の解決に業界を挙げて取り組む。また世の中に役立つエネルギーとして、業界外への情報発信を積極的に実施する。

■日本の将来推計人口（2020年＝100）



出所：みずほ銀行（2024年12月）
都市ガスエリア人口は都市ガス供給エリア内の人口、その他をLPガスエリア人口とみなし試算。人口推移データは国立社会保障・人口問題研究所より。

■世界のLPガス消費量予測



出所：世界リキッドガス協会（WLGA）・ArgusMedia

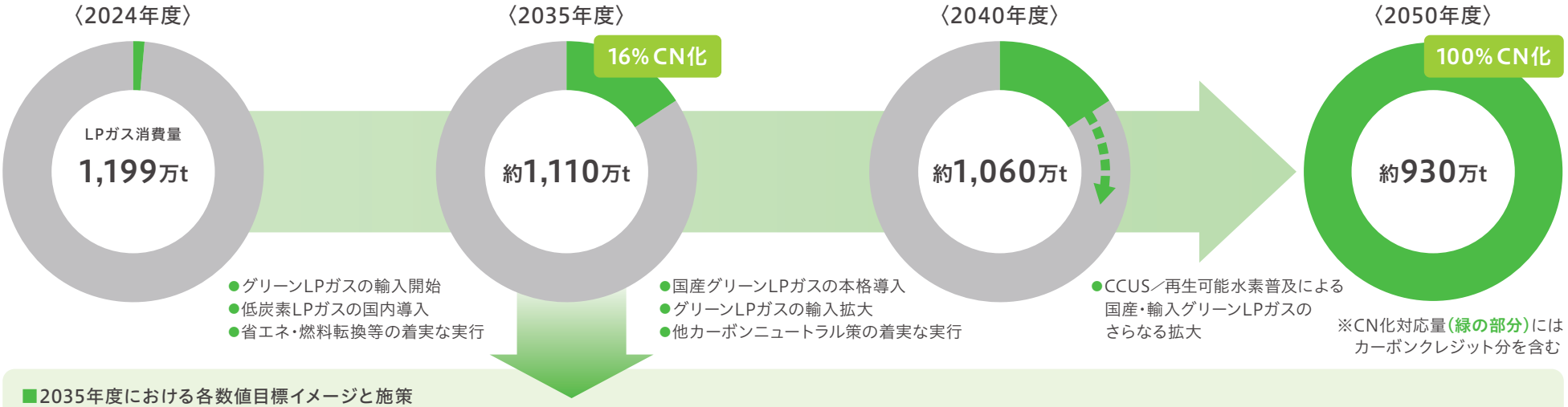
Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

①2050年に向けたカーボンニュートラル社会実現への貢献

【LPガス産業 2050カーボンニュートラル化目標】

❶2050年にLPガス100%全量のカーボンニュートラル化（CN化）を目指す。

❷上記達成に向けて、2035年度には消費量の16%相当*のカーボンニュートラル化を図る。 *2024年度比



■2035年度における各数値目標イメージと施策

	割合（計100%）	施策	CO_2削減量（万t）
Ⅰ.グリーンLPガスの輸入	30～50%	○海外からのグリーンLPガス・原料の輸入	160～264
Ⅱ.グリーンLPガスの国内生産	10～20%	○バイオ原料・合成ガスによる国内生産 ○低炭素LPガス（rDME混合）の先行導入	53～105
Ⅲ.カーボンクレジットの利用	10%程度	○カーボンオフセットLPガスの利用拡大 ○J-クレジット・JCM等の活用	約53
Ⅳ.高効率省エネ機器の普及	15～20%	○高効率なガス給湯器の普及（エネファーム／ハイブリッド給湯器／エコジョーズ等）	80～105
Ⅴ.LPガスへの燃料転換の推進	15～20%	○A重油焚きボイラー等のLPガスへの転換 ○LPガスエアコン（GHP）の導入拡大	80～105

Ⅰ～Ⅴ合計で
約530万t※ CO_2削減

※2035年度のLPガス消費量（約1,110万t）×CN化率（16%）×LPガス1tあたりのCO_2排出係数（3）

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

②グリーンLPガスの開発・輸入と実用化の推進

グリーンLPガスの開発及び輸入を進め、2030年代半ばの国内実用化を目指す。

グリーンLPガス国内開発の推進

グリーンLPガス※の開発を進め、2030年代半ばの国内普及の実現を目指す。

グリーンLPガス輸入の実現

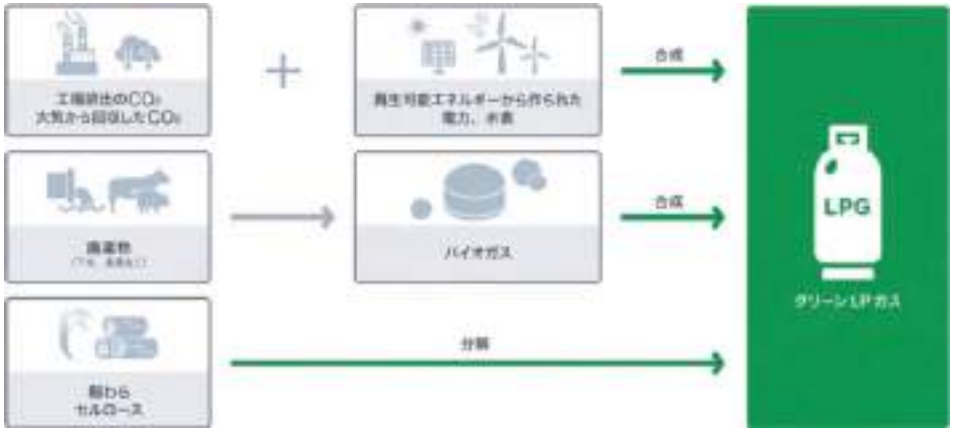
海外のエネルギー会社・化学メーカー等と連携し、グリーンLPガス及び原料の輸入を実現する。

グリーンLPガスをご利用できる環境の整備

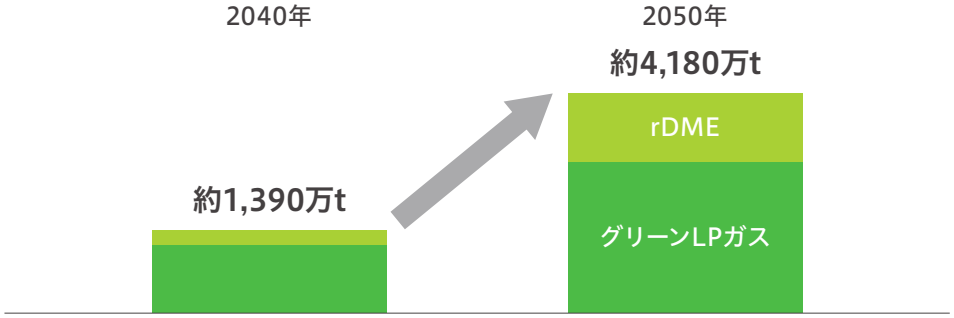
大量生産・低コスト化に向けた取り組みを国と進める。また、安心・安全にご利用いただくためのインフラ構築と保安体制の整備、品質基準づくりも進める。

※グリーンLPガスとは
バイオ原料、工場排ガスなどの再利用、再生可能電力による水素等を原料とした化石燃料によらないLPガス。現在使用されているLPガス機器をそのまま利用できるよう開発中。

■グリーンLPガスの製造方法例



■世界のグリーンLPガス 生産予測



出所：世界リキッドガス協会（WLGA）

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

③トランジション期におけるカーボンニュートラル策の推進

グリーンLPガスの普及までの期間（トランジション期）においても、LPガス業界は現実的に取り組むことができる様々な低炭素化施策を推し進め、たゆみなくカーボンニュートラル社会の実現に貢献する。

高効率LPガス機器の普及拡大と燃料転換の推進

産業用・家庭用の高効率なLPガス機器の普及拡大による省エネと、LPガスへの燃料転換を推進していく。

カーボンクレジットの利用拡大

カーボンクレジットを付与した「カーボンオフセットLPガス」の利用拡大と、LPガスへの燃料転換や植林等から生み出されるクレジットの創出・拡大を推進する。

低炭素混合LPガスの先行導入

グリーンLPガスの普及に先行し、rDME※混合による低炭素LPガスの実用化と導入を図る。

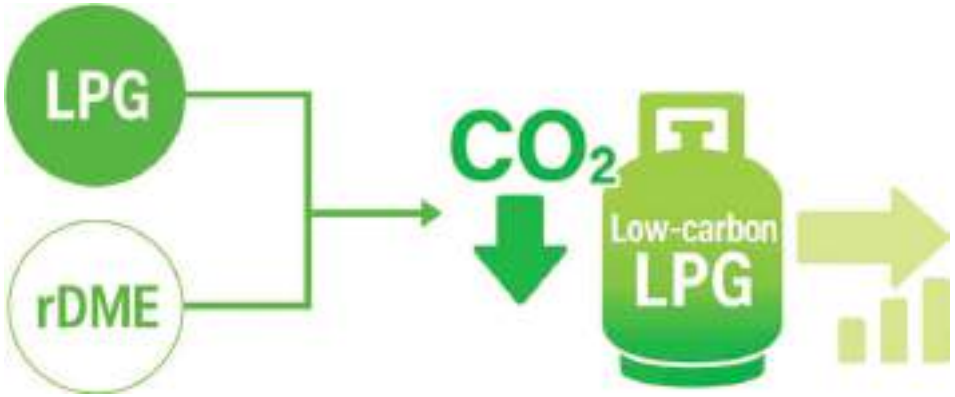
※rDME（再生可能ジメチルエーテル）とは

バイオ原料、リサイクルプラスチック、再生可能水素等を原料としたバイオメタノールから製造するジメチルエーテル。LPガスの主成分であるプロパンガスと物性が近く、LPガスと混合しやすく、低炭素化を実現できる。

■カーボンクレジットによるCO_2オフセット（相殺）のイメージ



■低炭素LPガス

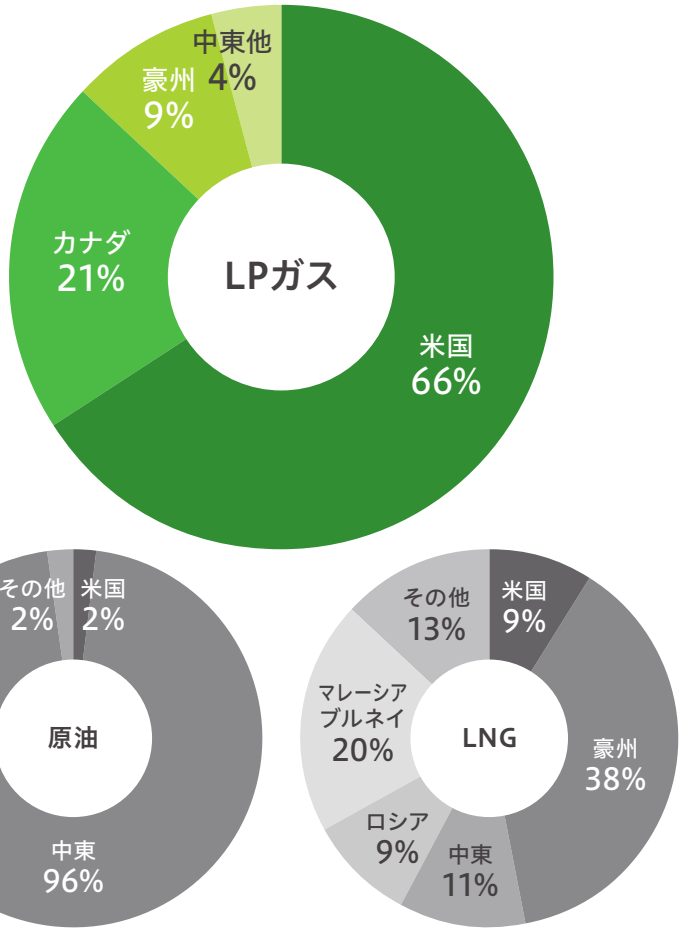


Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

補足資料：LPガスの安定調達について

①米国・カナダ・豪州からの輸入が9割以上

■日本のエネルギー輸入シェア



出所：2024年 財務省貿易統計

②地政学的リスクの影響を受けにくい航路を確保

■LPガスの輸入航路



Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

日本LPガス協会
Japan LP Gas Association

LPガス産業 2030アジェンダ

2025年11月

2030 AGENDA



「LPガス産業 2030アジェンダ」について

●LPガス産業が目指すお客様・社会との約束である「LPガス産業 2050ミッション」を実現するため、今後5年間における具体的な実行計画「LPガス産業 2030アジェンダ」を策定しました。
●LPガス産業が一丸となって6つのアジェンダを実践し、ミッションの実現に邁進します。

【LPガス産業 2050ミッション】〈お客様・社会との約束〉

ミッション 1
平時も災害時においても、常にご家庭へLPガスを安定供給する体制を堅持する

ミッション 2
常にお客様に選ばれるエネルギーサービスを提供し、持続可能な産業として発展する

ミッション 3
社会的ニーズに応え、LPガスによるカーボンニュートラル化を着実に実行する

【LPガス産業 2030アジェンダ】〈2050ミッション達成のための5年間の実行計画〉

I
安定的かつ臨機応変に対処可能なLPガスの輸入・供給

II
災害レジリエンス対応力の一層の強化

III
お客様に選ばれるエネルギーサービスの提案

IV
より安心で安全なLPガス利用の実現

V
グリーンLPガス等の調達・開発とカーボンニュートラル化の推進

VI
持続可能なLPガス産業を支える国内外連携の強化と人材の確保

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

「LPガス産業 2030アジェンダ」施策一覧

Ⅰ. 安定的かつ臨機応変に対処可能なLPガスの輸入・供給

1.海外調達の安定供給・維持確保･･･P3
2.国内備蓄体制の維持・継続･･･P4
3.安定的な国内供給網の堅持･･･P5

Ⅱ. 災害レジリエンス対応力の一層の強化

1.国内供給網の災害対応力の強化･･･P6・P7
2.輸入基地の災害対応力の強化･･･P8
3.災害時の供給体制の維持･･･P9
4.避難所等、地域の災害対応力強化への貢献･･･P10

Ⅲ. お客様に選ばれるエネルギーサービスの提案

1.省エネ・低炭素化を軸としたLPガス機器・設備の提案･･･P11
2.新たな需要創造のための取り組みの推進･･･P12
3.LPガスの認知拡大・理解促進に向けた広報活動の展開･･･P13

Ⅳ. より安心で安全なLPガス利用の実現

1.将来にわたるLPガス品質の確保･･･P14
2.安全確保に向けた取り組みの強化･･･P15・P16
3.安心・安全確保に向けた広報・啓発活動の実施･･･P17
4.取引適正化による信頼の確保･･･P18

Ⅴ. グリーンLPガス等の調達・開発とカーボンニュートラル化の推進

1.LPガス産業のカーボンニュートラル化目標の設定と実行策の具体化･･･P19
2.グリーンLPガス等の海外調達の推進･･･P20
3.国内グリーンLPガス開発及び実用化の推進･･･P21・P22
4.燃料転換の推進及び高効率給湯器の普及拡大･･･P23
5.カーボンクレジットの利用拡大･･･P24

Ⅵ. 持続可能なLPガス産業を支える国内外連携の強化と人材の確保

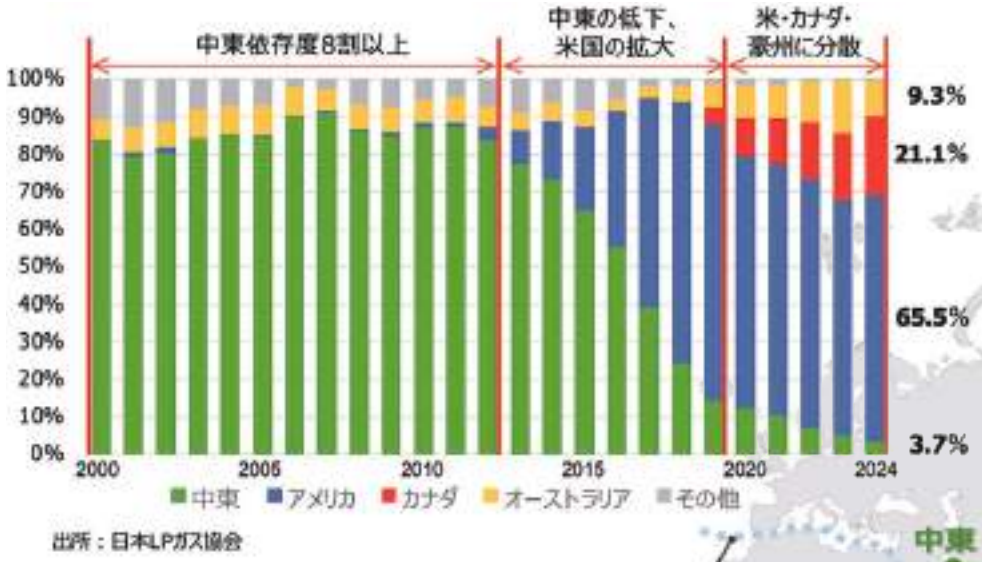
1.官民連携の強化･･･P25
2.国際連携の一層の強化･･･P26
3.産業としての人材の確保・育成･･･P27

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

1.海外調達の安定供給・維持確保

米国・カナダ・豪州からの輸入調達拡大等により安定調達を実現しているLPガスであるが、今後も地政学的リスクに備え、調達先の多様化・柔軟性の確保、産ガス国・要衝地域との更なる関係維持強化に努める。

■日本のLPガス輸入シェアの推移



出所：日本LPガス協会



Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

2.国内備蓄体制の維持・継続

現在確保している輸入量90日分以上の国家備蓄および民間備蓄を維持しつつも、需要変動に適応した国家・民間比率の再考や、非常用発電設備の設置等による国家備蓄基地の強靭化に向けた協議や運用策を検討する。

LPガスの備蓄体制

我が国のLPガス備蓄は、①国が保有する「国家備蓄」と②LPガス輸入業者が義務として保有する「民間備蓄」で構成。加えて、その各流通段階での在庫なども存在。

区分	備蓄量	備考
国家備蓄	1,392 千トン	輸入量の50日分以上
民間備蓄（法定分）	1,083 千トン（2025年3月末現在）	輸入量の40日分以上

＋

対象法律：「石油の備蓄の確保等に関する法律」

・各流通段階で在庫確保
・お客様先での軒下在庫確保（約30日分）



国家備蓄基地と民間隣接基地（イメージ図）

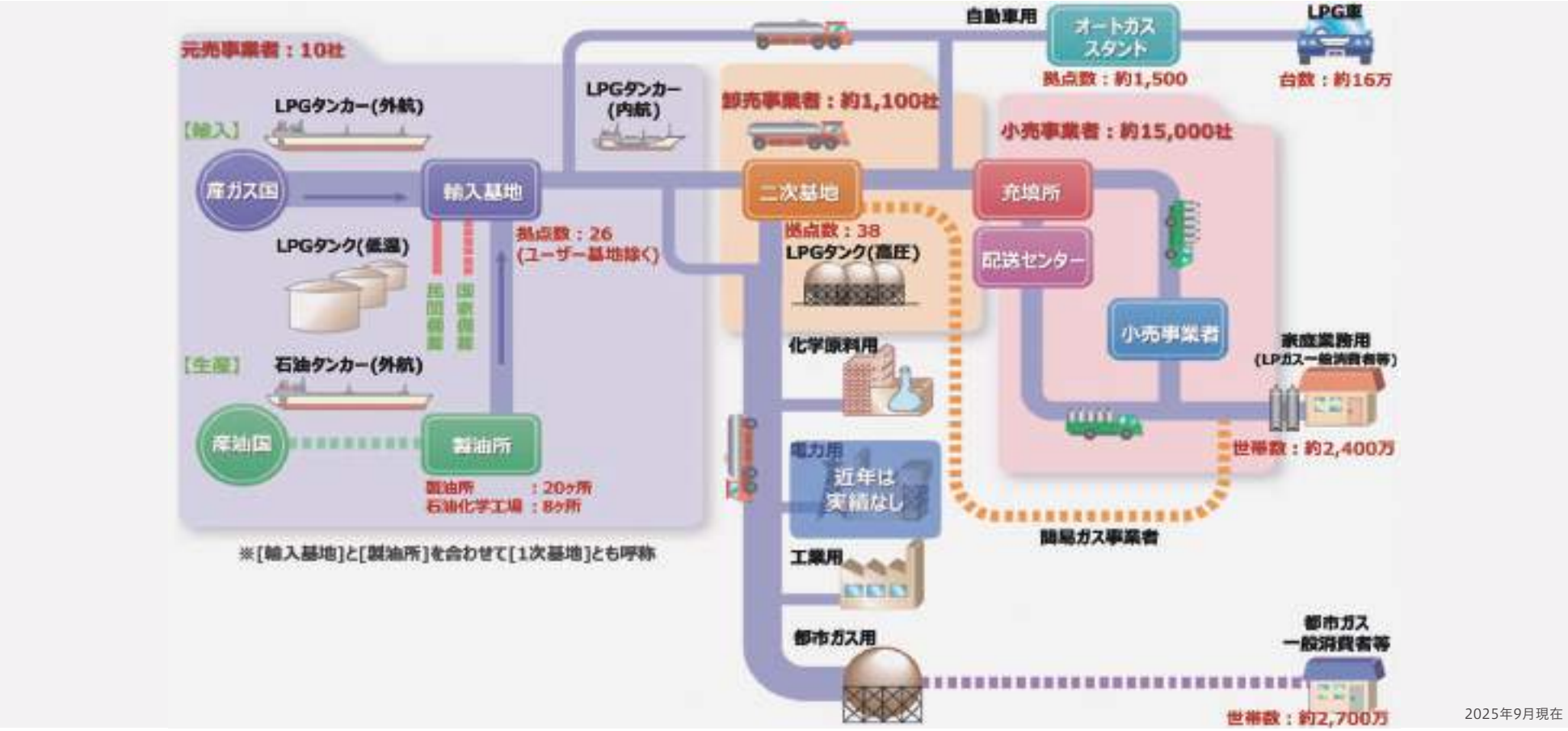
国家備蓄基地の配置



Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

3.安定的な国内安定供給網の堅持

国内の安定供給体制が確立している一方で、経年設備の診断による老朽化調査・人口減に伴う需要の減少見通し等から、将来を見越した適切な基地配置等の整備・検証を行う。また、共同配送体制の強化に向けて検討する。



2025年9月現在

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

1.国内供給網の災害対応力の強化①

有事における安定的な供給体制維持のために、平時より官民一体となった連携訓練等を継続する。
行政や他団体と連携しながら広域大規模災害を想定した訓練の実施、災害シミュレーション等も検討する。

災害時石油ガス供給連携計画

備蓄法第14条により、特定石油ガス輸入業者等に対して、有事の際に全国9地域へのLPガスの安定的な供給を確保するために、相互間の連携に関する内容を定めたもの。
また、平時から地域毎に訓練を実施（各地域1回/年）。

「災害時石油ガス供給連携計画」発動時の流れ

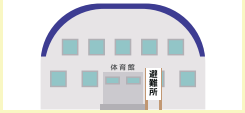
大規模災害

被災地（自治体等）

被災により、特定の地域へのLPガスの供給が不足する事態が発生



【避難所の設置等】
■地域住民の安全を確保
■LPガス設備があれば、電力・空調・給湯の確保や調理が可能





【支援活動】
■被災地域への支援体制を維持

④供給支援

LPガス事業者

地域の会社間で協力のもとLPガスの供給を継続

［元売］LPガス輸入事業者
対象拠点：1次基地・2次基地
関連団体：日本LPガス協会

［卸・小売］LPガス販売事業者
対象拠点：充填所
関連団体：全国LPガス協会／都道府県LPガス協会

①被害報告・救援要請

資源エネルギー庁

経済産業大臣より特定石油ガス輸入業者等に対して
「災害時石油ガス供給連携計画」の実施を勧告



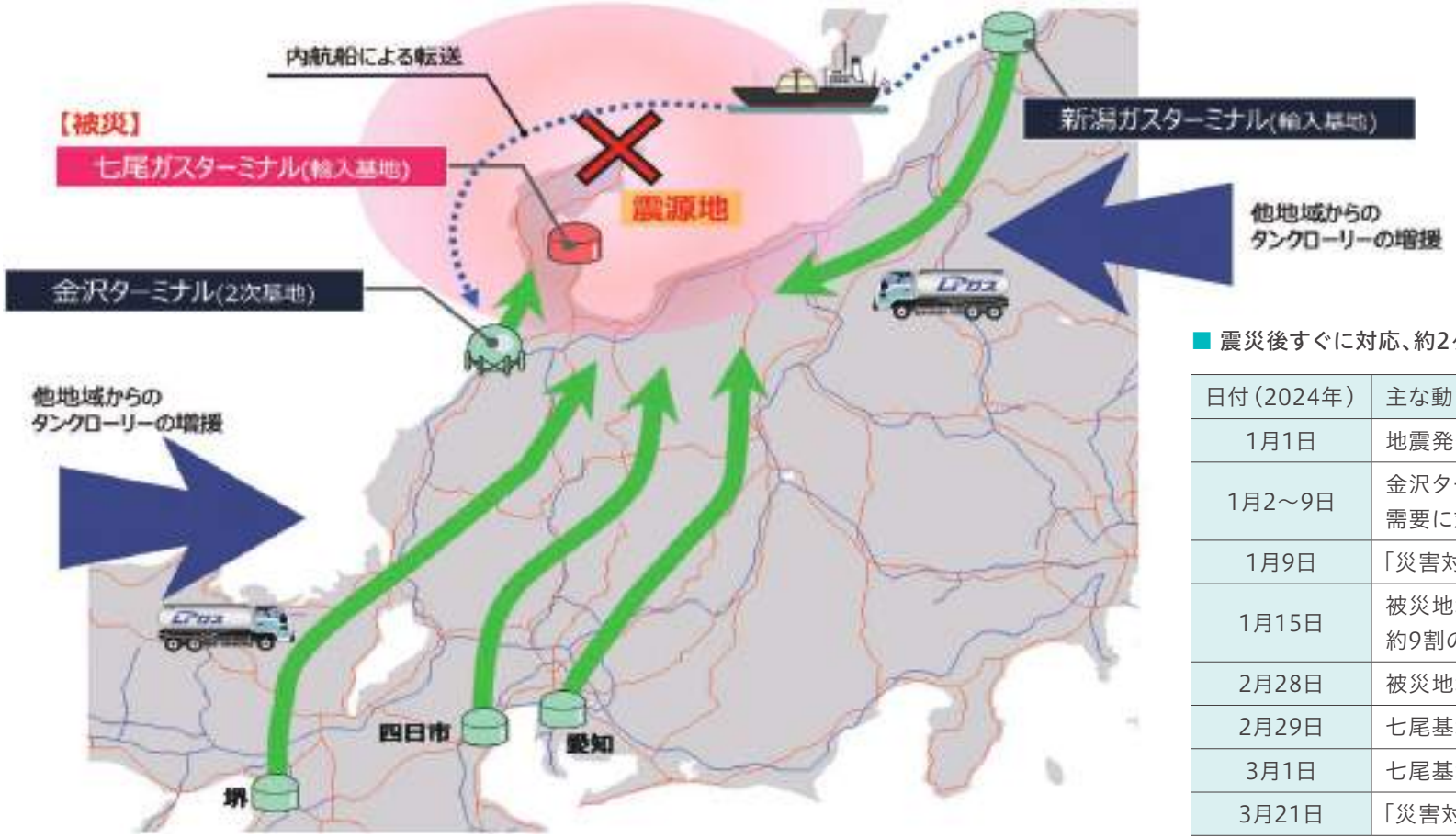
③拠点状況報告・救援受領

②状況報告要請・被災地への救援要請

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

1.国内供給網の災害対応力の強化②

「令和6年能登半島地震」時のLPガス業界における対応と復旧事例



■ 震災後すぐに対応、約2ヶ月で平時出荷状態に回復

日付（2024年）	主な動き
1月1日	地震発生
1月2～9日	金沢ターミナル等からの増援により、需要に対応
1月9日	「災害対策本部」を設置
1月15日	被災地域の幹線道路において、約9割の緊急復旧が完了
2月28日	被災地域需要家設備の復旧完了
2月29日	七尾基地の応急復旧完了
3月1日	七尾基地の輸入船受入再開
3月21日	「災害対策本部」の解散

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

2.輸入基地の災害対応力の強化

現在停電時の復旧手段として、東日本大震災後に主要輸入基地に対し移動式電源車を配備しているが、今後は耐用年数を経過する電源車の代替手段として、新たな発電機の導入等を早期に検討する。

将来的な運用に向けた対応

第7次エネルギー基本計画においても、LPガスは「レジリエンスに強い」と位置付けられた。
現存する電源車の耐用年数経過後も、引き続き災害時における供給途絶が起こらないよう対応策を講じるため、具体的な代替案候補を調査・選定する。

■実現性のある代替プラン　※目安として、一次基地において最低限の出荷設備を稼働させるために必要となる発電能力(1,000kVA以上)を有することが前提。

移動式電源車		定置式発電機(軽油)		定置式発電機(LPG)	
軽油	車載式	軽油	定置式	LPG	定置式









その他の検討事項

●液状化対策：地質調査、地盤基礎強化
●津波対策：シミュレーション、防潮壁の設置
●耐震設計：耐震設計基準への適合状況等の実態調査

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

3.災害時の供給体制の維持

元売事業者や関係省庁との連携により、災害時における供給体制の維持・確保を図る。
今後の取り組みとして、自治体等との意見交換を通じ、業界全体で課題や不足事項について抽出し、必要な対応を実施する。

「相互支援協定」による会員間の連携

【要旨】
日本LPガス協会 会員の1次基地・2次基地における受入・出荷施設が被災により供給不安が生じた際、会員間で相互支援を行う民間協定。

「通報要領」による政府との連携

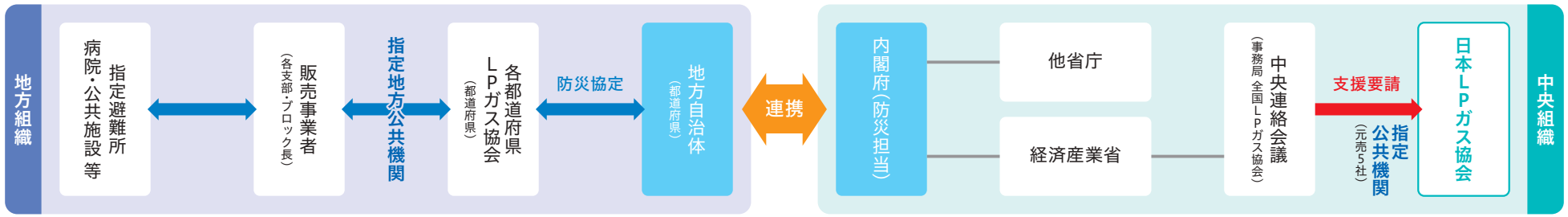
【要旨】
会員会社は災害発生時において、必要に応じて協会へ被災状況等を連絡協会はこれらの情報を整理し、資源エネルギー庁へ通報。
①地震：基地所在地にて、「震度5弱」以上の地震発生時、速やかに連絡。
②風水害・雪害・津波等：出荷機能等に重大な問題や影響が生じた場合、速やかに連絡。

「指定公共機関」による包括的連携

○2020年4月、元売5社が「災害対策基本法」第2条第5号に基づく「指定公共機関」に指定された。
○元売各社は、「防災業務計画」の策定・見直しを始め、災害予防・応急・復旧等に重要な役割を果たすことが求められる。

【供給継続に向けた利点】
○「指定公共機関」を受けた事業者は、タンクローリー等を「緊急通行車両」として事前登録が可能。
○「緊急通行車両」は、災害時において一般車の通行が禁止・制限される中でも通行でき、輸入基地等からの迅速なLPガスの搬送が可能。

■大規模災害時における協力連携図

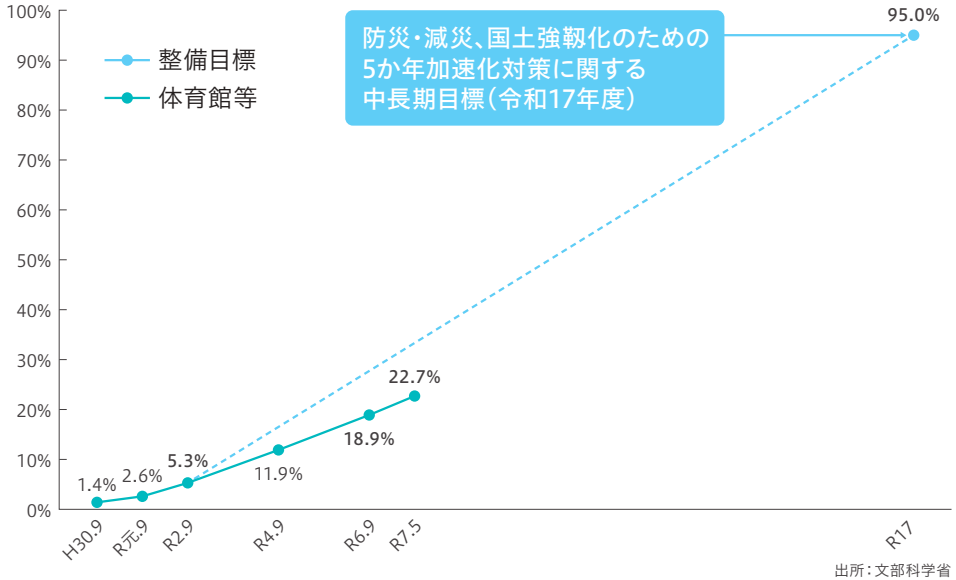


Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

4.避難所等、地域の災害対応力強化への貢献

災害時の避難所となる公立小中学校体育館へ災害対応力の高いLPガス仕様GHP（ガスヒートポンプ）、非常用発電機及び災害対応バルクの設置を推進するとともに、地方自治体等への積極的提案により、学校以外の避難所・医療施設等への導入拡大も実現する。

■公立小中学校施設における空調（冷房）設備の設置状況



出所：文部科学省

■災害に強いLPガス仕様の電源自立型GHP（発電機能を持つガスヒートポンプ）



政策支援

［文部科学省］

空調設備整備臨時特例交付金を新設。2024年度から10年間で設置を加速。

2035年度に95%の設置目標に向け積極支援。

［内閣府］

第1次国土強靱化実施中期計画でも、学校体育館及び一般**避難所の耐災害性強化。**

政策支援

［経済産業省］

災害時に備えた社会的重要インフラへの自営的な燃料備蓄の推進事業費補助金（LPガス災害対応バルク＋石油製品タンク）を継続推進。

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

1.省エネ・低炭素化を軸としたLPガス機器・設備の提案

我が国の目標である「2050年カーボンニュートラルの実現」を着実に進めていくため、「省エネ」「低炭素化」の促進に最適な高効率LPガス機器・設備の普及に努める。

① 高効率・省エネ機器の普及促進

従来器に比べエネルギー効率が格段に良く、CO_2排出量が少ないエコジョーズやハイブリッド給湯器、エネファームについて、一層の普及促進を図る。



エコジョーズ

年間約260kgのCO_2削減効果
（従来に比べて約17%）



ハイブリッド給湯器

年間約672kgのCO_2削減効果
（従来に比べて約55%）



エネファーム

年間約1.0～1.3tのCO_2削減効果

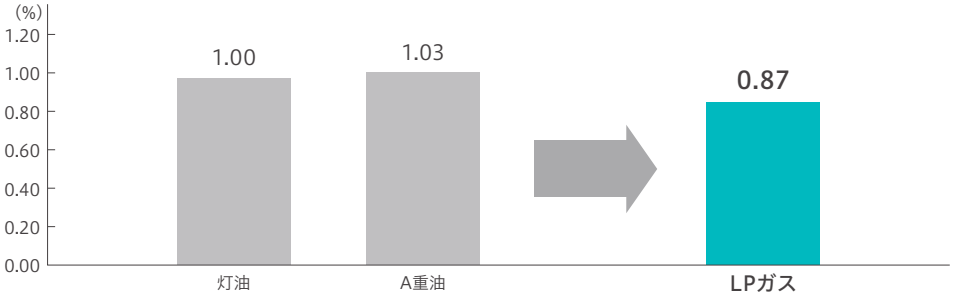
「エネルギー効率の極大化」を実現するため、GHP（ガスヒートポンプ）とEHP（電気ヒートポンプ）を組み合わせたビル空調設備、農業設備の提案等、電力と「競争ではなく協奏」を図っていく。
また、電力需要の増加が見込まれる中、高効率ガス機器の利用によりピーク時の系統電力負荷の抑制に貢献する。



② 業務用・産業用設備等における燃料転換の促進

LPガスは他の石油系燃料に比べCO_2排出量が少ないことから、業務用途や産業用途で使われているA重油・灯油から、LPガスへの燃料転換を進めることで、国内全体のCO_2排出量削減に貢献する。

■CO_2排出係数（灯油を「1.00」とした場合の発熱量における比率）



出所：地球温暖化対策の推進に関する法律



工業用ボイラー



農業加温機

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

2.新たな需要創造のための取り組みの推進

LPガスの新たな需要を創造するため、①舶用燃料としての利用可能性、②施設園芸におけるクリーンな排ガス利用（CO_2施用）の可能性、③冷媒としての利用可能性等を検証する。

① 舶用燃料としての利用可能性

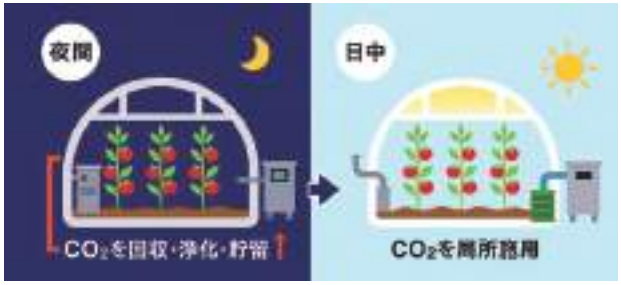
船舶エンジンと相性の良いrDMEを混合したLPガス燃料の実用化に向けた燃焼試験等を実施



LPガス燃料船（二元燃料船）

② 施設園芸におけるクリーンな排ガス利用（CO_2施用）の可能性

プロパンは灯油やA重油に比べ排ガス中のすすやSOx等が少ないことを利用して、排ガスをトマト等の作物を育てる際に行うCO_2施肥の可能性を検討



CO_2リサイクル施用例

③ 冷媒としての利用可能性

地球温暖化係数（GWP）が極めて低いプロパンをフロンに代わる冷媒として、家庭用エアコンでの利用可能性を検討

〈冷媒のGWP※〉※IPCC第4次報告書より
数値が大きいほど環境負荷大

現在の冷媒
R-32＝675、R-410A＝2,090、
R-407C＝1,770

これに対し
プロパン（R290）＝3

R290

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

3.LPガスの認知拡大・理解促進に向けた広報活動の展開

LPガス及びLPガス機器をお客様に選んで頂くための広報・調査活動を積極的に展開し、LPガスの認知度向上とLPガスの持つ優位性の訴求を図る。


Siセンサーコンロ


GHP


ガス衣類乾燥機


ガスファンヒーター


コージェネレーション


エネファーム


FRP容器


高効率給湯器


パラソルヒーター


LPガスハイブリッドタクシー＊


炊き出しステーション



災害対応バルク

【広報活動】

○会員会社へのカーボンニュートラル関連情報の提供
○高効率機器等に関する広報活動の充実、メディア・消費者等に対する訴求
○国、政党、有識者、消費者団体等への情報発信
○LPガスユーザー、潜在的ユーザー等への情報提供、情報共有
○一般紙、業界紙等を通じた情報発信
➡特にLPガス業界以外への情報発信力を強化





LPガスが「選ばれるエネルギー」へ

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

1.将来にわたるLPガス品質の確保

今後普及を目指す「rDME混合低炭素LPガス」「グリーンLPガス」に対応した新たなLPガスの品質基準及び試験方法を確立し、移行期及び将来においても安心・安全に利用できる体制を構築する。

■現状のLPガスの品質・試験法に係る法律及び規格

種別	法律・規格名	規定項目
法律	液化石油ガス法	成分、蒸気圧、水銀
	高圧ガス保安法	着臭
	労働安全衛生法	1,3-ブタジエン、ペンタン等
国家規格	日本産業規格 （JIS K 2240）	品質、試験方法 （蒸気圧、密度、硫黄分、組成、銅板腐食）
業界規格	品質ガイドライン	輸入基地及び製油所出荷時の品質
	日本LPガス協会規格 （JLPGA-S）	熱量の計算方法、試験方法 （水分、残渣分、水銀等）

➡主にプロパンの組成比率と毒性物の含有率分析を中心とした試験により、LPガスの品質を管理



LPガスの品質試験機器例：汎用ガスクロマトグラフ
（GC-7100（株）ジェイ・サイエンスラボ／（株）ジェイ・サイエンス東日本）

課題

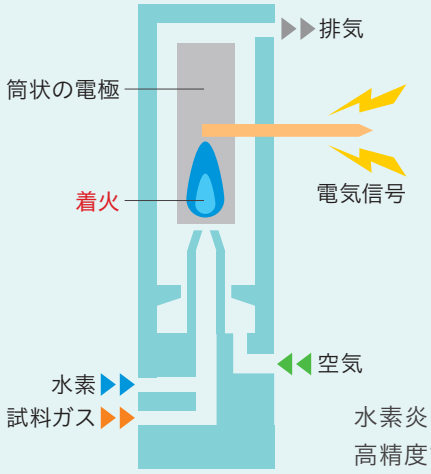
「rDME混合低炭素LPガス（P22参照）」「グリーンLPガス」については、その原材料や製造方法がさまざまなため、これまで測定対象でなかった成分の検査、基準が必要。

対応テーマ

○「低炭素LPガス」「グリーンLPガス」を家庭用・工業用として安全に使用するための新たな品質基準の検討

○上記の国内規格化（JIS等）、国際規格化（ISO等）

○新たな品質基準に対応した、試験方法・装置の検討
水素炎イオン化（FID）検出器とキャピラリーカラムを使用した試験方法の検討等



水素炎イオン化検出器・LPガス中の全ての成分を高精度で測定可能

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

2.安全確保に向けた取り組みの強化①

これまでの保安策の徹底、デジタル技術活用、小売との連携強化等により、輸入基地から小売段階まで万全な安全の確保と効率化を図る。

安全管理体制の強化

○「産業保安に関する自主行動計画」※に基づく自主保安の推進
○老朽化設備の計画的更新・補修
○耐震性・防災機能の強化（地震・津波・風水害対策）

※重大事故を踏まえた再発防止のためにLPガス業界を含め業界団体に3省（総務省消防庁、厚生労働省及び経済産業省）が策定を求めたもの

デジタル技術活用による予防保全・監視高度化

○IoTセンサーの導入によるリアルタイム監視（ガス漏洩検知、温度・圧力モニタリング等）の導入
○AIを活用した予兆検知システムによる設備異常の早期発見の導入検討
○ドローン・ロボットによる巡回・点検業務の導入検討

業務プロセスの効率化と高度化

○設備管理台帳・工事記録のクラウド化検討
○デジタルツイン技術を活用した基地内運用シミュレーションの導入検討
○各種申請・点検報告等の電子化による事務効率向上

BAT（Best Available Technology：利用可能な最良の技術）の発掘、情報共有

○BOG（ボイルオフガス：気化ガス）コンプレッサー、出荷ポンプ等の運転方法の改善





○保安照明のLED化



○冷却水ポンプの運転方法の改善



○太陽光発電の導入



Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

2.安全確保に向けた取り組みの強化②

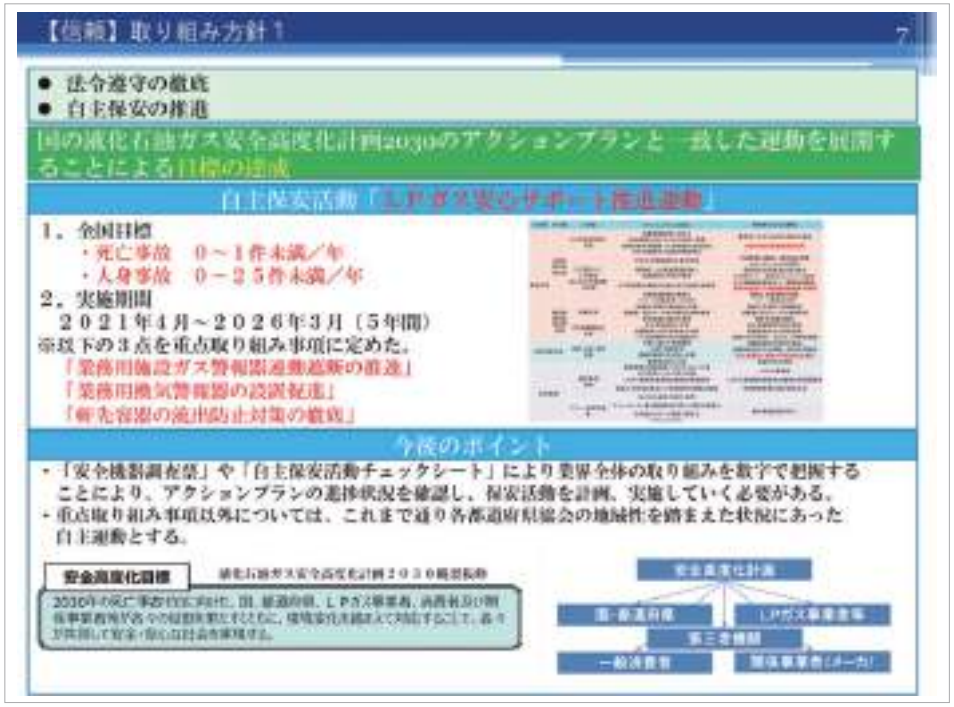
運送面、流通面、小売面での安全確保

■LPガスタンクローリ事故防止対策の推進
○LPガスタンクローリ事故防止委員会（高圧ガス保安協会）と連携

■『液化石油ガス安全高度化計画2030』への対応
○全国LPガス協会による、国の『液化石油ガス安全高度化計画2030』と一致した自主保安運動の展開
➡法令遵守の徹底
➡自主保安の推進



出所：資源エネルギー庁



出所：（一社）全国LPガス協会

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

3.安心・安全確保に向けた広報・啓発活動の実施

LPガスの安心・安全な利用を促進するため、全国LPガス協会等と連携し、引き続き利用者に向けた広報・啓発活動を積極的に推進する。

LPガス安全委員会の広報・啓発活動

○消費者の保安知識普及・安全意識向上
○「LPガス消費者保安キャンペーン」（例年10月）
○事故防止・安全利用のための広報活動
○功績事業所・個人の表彰
○各地域団体の啓発事業支援









令和6年度事業 静岡市清水庵原地区の地域防災訓練

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

4.取引適正化による信頼の確保

お客様に安心してＬＰガスをご利用頂くため、これまで不透明な部分もあった商慣行を抜本的に改革し、過大な営業行為の制限、料金の透明化と情報提供に向けた様々な取り組みを業界が一丸となって実行する。

〈背景〉LPガスを巡る商慣行の「3つの課題」



課題1
消費者とのLPガス販売契約を目的とし、オーナー等に対し、過大な営業を展開(不動産会社が利益供与を要請する場合も)

課題2
過大な営業費用をLPガス料金に上乗せして回収(通常であれば家賃に含まれている設備費用や、ガス消費とは関係ないエアコン等の設備費用を、ＬＰガス料金として回収)
➡LPガス料金が不透明で高くなる

課題3
入居するまでLPガス料金が不明(過大な営業費用が上乗せされているLPガス料金であることを入居する前に知ることができない)

改革1 過大な営業行為の制限
○オーナー等への正常な商慣習を超えた利益供与の禁止(設備無償貸与、フリーメンテナンス、紹介料支払い等)
○LPガス事業者の切替えを制限するような条件付き契約締結等の禁止
2024年7月2日施行

改革2 三部料金制の徹底(設備費用の外出し表示・計上禁止)
○料金請求時に基本料金、従量料金、設備料金の3つに分けて通知(設備費用の外出し表示)
○エアコンなどLPガスとは関係のない費用や、家賃に含まれるべき費用を、LPガス料金として回収することの禁止
2025年4月2日施行

改革3 LPガス料金等の情報提供
○入居希望者から直接要請あった場合の対応義務
○不動産関係者を通じた情報提供努力義務
2024年7月2日施行

出所：経済産業省 資源エネルギー庁

取引適正化に向けたLPガス業界の取り組み

【小売事業者への徹底】
○業界自主ルールであるLPガス販売指針への記載と周知・徹底
○取引適正化・料金適正化に向けた自主取り組み宣言の公表(2025年9月時点で4,300超事業者が宣言)・国の運用する監視・通報制度への協力と結果への速やかな対応

【他業界への働きかけ】
○賃貸住宅オーナー・不動産業界に対する啓発活動

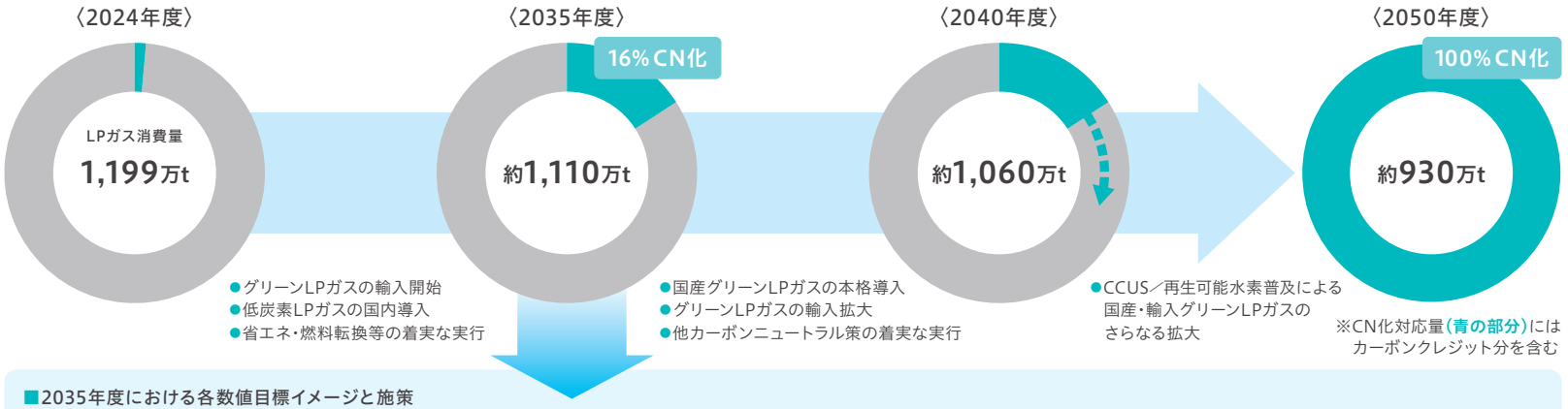
【消費者向けた周知活動】
○パンフレット・イベント等を通じた情報提供、窓口紹介の徹底 等

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

1.LPガス産業のカーボンニュートラル化目標の設定と実行策の具体化

「LPガス産業 2050年カーボンニュートラル化目標」と「2035年度における目標と施策」を設定し、各施策を推進する。

【LPガス産業 2050カーボンニュートラル化目標】
❶2050年にLPガス100%全量のカーボンニュートラル化(CN化)を目指す。
❷上記達成に向けて、2035年度には消費量の16%相当*のカーボンニュートラル化を図る。 *2024年度比



■2035年度における各数値目標イメージと施策

	割合(計100%)	施策	CO_2削減量(万t)
Ⅰ.グリーンLPガスの輸入	30～50%	○海外からのグリーンLPガス・原料の輸入	160～264
Ⅱ.グリーンLPガスの国内生産	10～20%	○バイオ原料・合成ガスによる国内生産 ○低炭素LPガス(rDME混合)の先行導入	53～105
Ⅲ.カーボンクレジットの利用	10%程度	○カーボンオフセットLPガスの利用拡大 ○J-クレジット・JCM等の活用	約53
Ⅳ.高効率省エネ機器の普及	15～20%	○高効率なガス給湯器の普及(エネファーム／ハイブリッド給湯器／エコジョーズ等)	80～105
Ⅴ.LPガスへの燃料転換の推進	15～20%	○A重油焚きボイラー等のLPガスへの転換 ○LPガスエアコン(GHP)の導入拡大	80～105

Ⅰ～Ⅴ合計で
約530万t※
CO_2削減

※2035年度のLPガス消費量(約1,110万t)×CN化率(16%)×LPガス1tあたりのCO_2排出係数(3)

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

2.グリーンLPガス等の海外調達の推進

2040年に世界全体で1,390万トンの製造が予想されるグリーンLPガス等の調達を確実に進める。

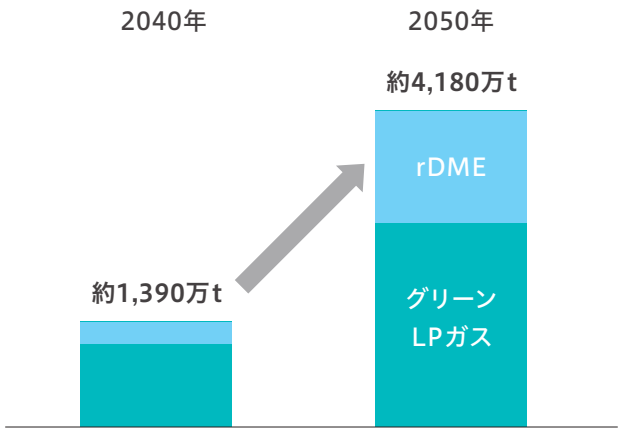
○2040年に世界全体で1,390万トンの製造が予想されるグリーンLPガス及びrDMEの調達を確実に進める。
○世界リキッドガス協会（WLGA）等、海外関係者との情報交換を通じ、新たな開発プロジェクト情報の把握等を行い、原料購入や協業の具体化を検討する。

■グリーンLPガス・rDME及び原料の製造計画



出所：世界リキッドガス協会（WLGA）

■世界のグリーンLPガス 生産予測（中央値）



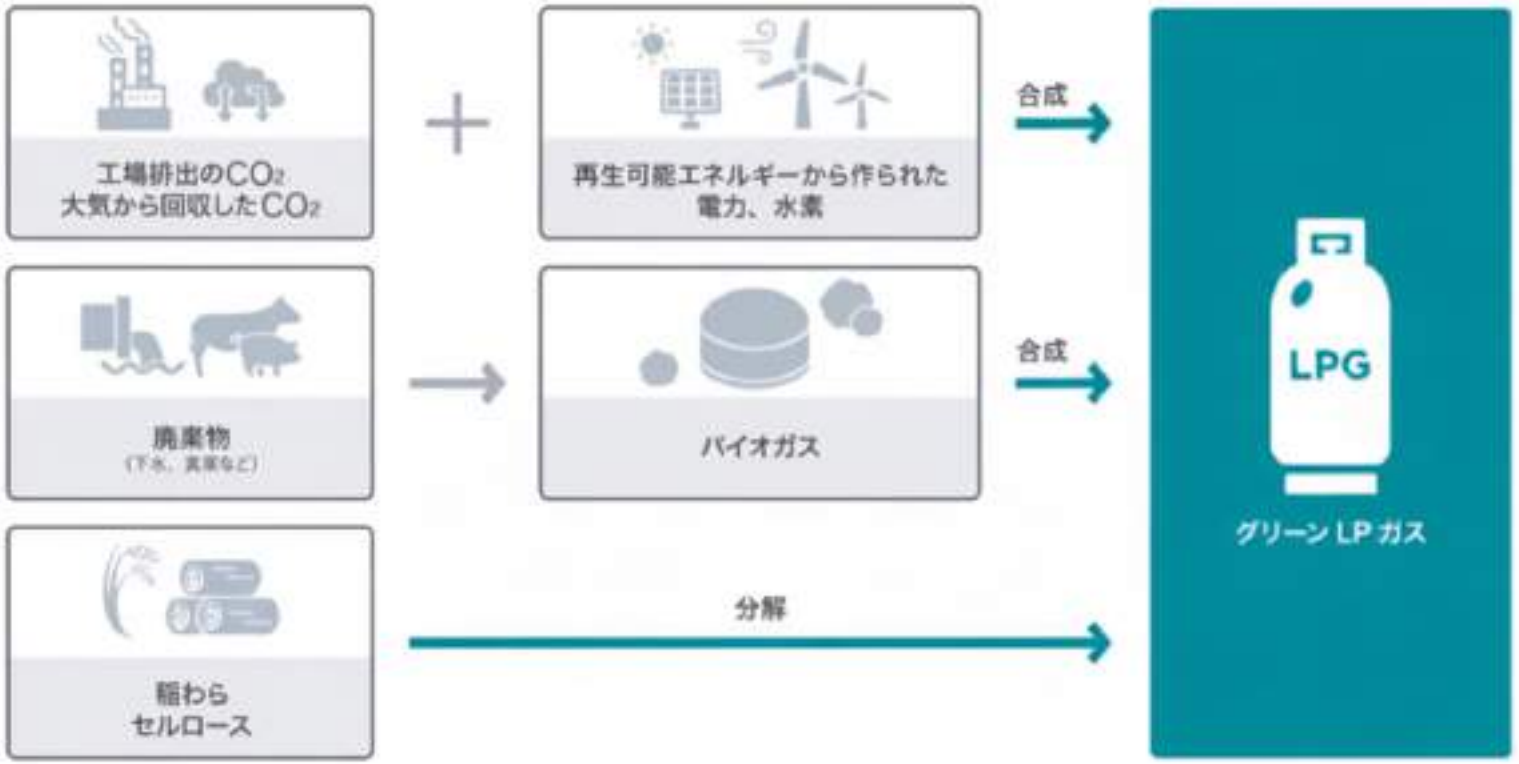
出所：世界リキッドガス協会（WLGA）

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

3.国内グリーンLPガス開発及び実用化の推進①

2030年代の社会実装に向け、グリーンLPガスの国内開発を確実に進めるとともに、グリーンLPガスの製品規格の確立、環境価値の明確化を図る。

グリーンLPガスの製造工程例（イメージ）



Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

3.国内グリーンLPガス開発及び実用化の推進②

グリーンLPガスの社会実装までの移行期（トランジション期）におけるLPガスの低炭素化・環境価値創出の取り組みとして、rDMEを混合した低炭素LPガスの実用化についての検討を開始する。

移行期のCN対応に関する課題

○グリーンLPガスの国内開発は進展しているが、本格的な社会実装の実現は**2030年代以降**と想定。
○他の次世代燃料※が環境価値を確立しつつあり、LPガスも速やかな対応が必要。

※他の次世代燃料：e-fuel（自動車燃料）、SAF（航空燃料）、e-methane（都市ガス）

移行期（トランジション期）におけるLPガスの低炭素化・環境価値創出の取り組みとして、

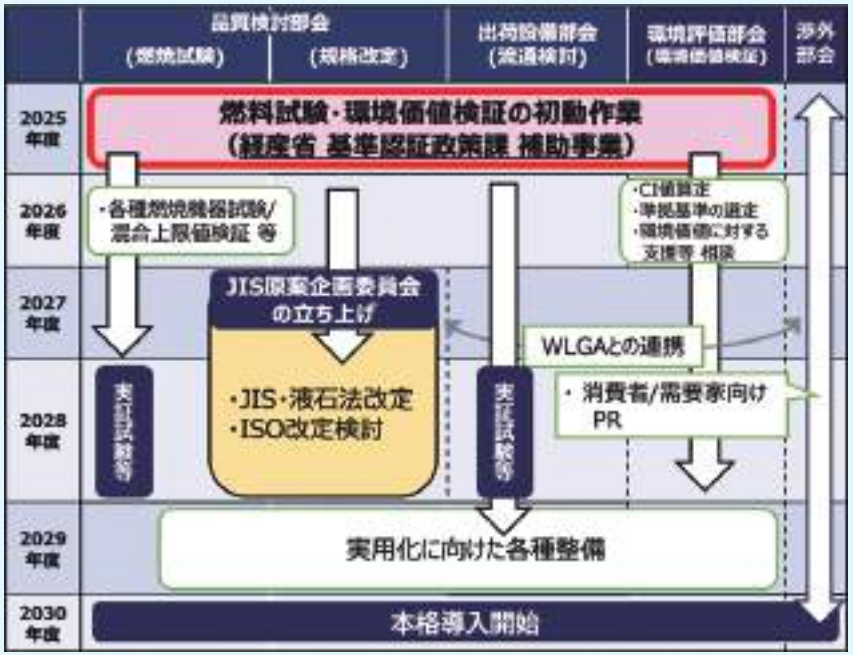
「rDME（再生可能ジメチルエーテル）混合LPガス」

の実用化検討を開始。

【rDME選定理由】
○プロパンと物性が近く、比較的混合が容易
○海外でもrDME混合LPガスの製造を検討しており、WLGA（世界リキッドガス協会）も日本との連携を表明
○過去のDME利用に対する調査研究成果あり

■「rDME混合LPガスの実用化検討WG」設置（2024年4月）

○座長：赤松 史光 大阪大学大学院教授
○構成メンバー：LPガス事業者・機器関連団体、民間企業、経済産業省 等
○課題解決に向けて4つの部会を設定。



Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

4.燃料転換の推進及び高効率給湯器の普及拡大

A重油・灯油からLPガスへの燃料転換、高効率給湯器による省エネを引き続き推進し、着実な低炭素社会の実現に貢献する。

部門	A.燃料転換	B.GHP部門	C.家庭用燃料電池	D.家庭用高効率給湯器
対象製品	**工業用ボイラー 農業用加温機** 	**GHP** 	**家庭用エネファーム** 	**エコジョーズ ハイブリッド給湯器** 
担当組織	**日本LPガス協会**	**GHPコンソーシアム**	**全国LPガス協会**	**日本ガス石油機器工業会**
取組内容	A重油・灯油からLPガスへの 燃料転換を推進	学校体育館等の避難所、医療施設 等へLPガス仕様GHPを導入	ZEH対応、発電機能を活かし、 家庭向けに導入促進	ZEH化・トップランナー制度等に 対応し、高効率給湯器の導入促進

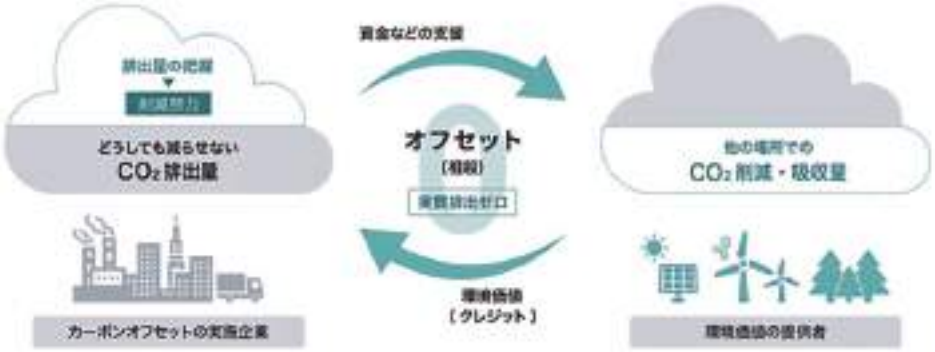
2035年度までの当該4分野でCO_2換算160～210万トン削減を実現する。（499万トンの削減ポテンシャルあり）
そのために各担当組織と連携し、CO_2削減実行策の具体化を推進する。

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

5.カーボンクレジットの利用拡大

**カーボンクレジットを付与した「カーボンオフセットLPガス」の更なる普及に向け、消費者が安心して環境価値を利用できる仕組みを構築する。
LPガスへの燃料転換や植林等、環境価値（クレジット）の創出にも取り組むことで、カーボンクレジットの活用拡大を図る。**

■カーボンクレジットによるCO_2オフセット（相殺）のイメージ



■皆さまに安心して環境価値をご利用頂くため、日本LPガス協会で作成した
カーボンクレジットの取り扱いに関する自主ガイドライン

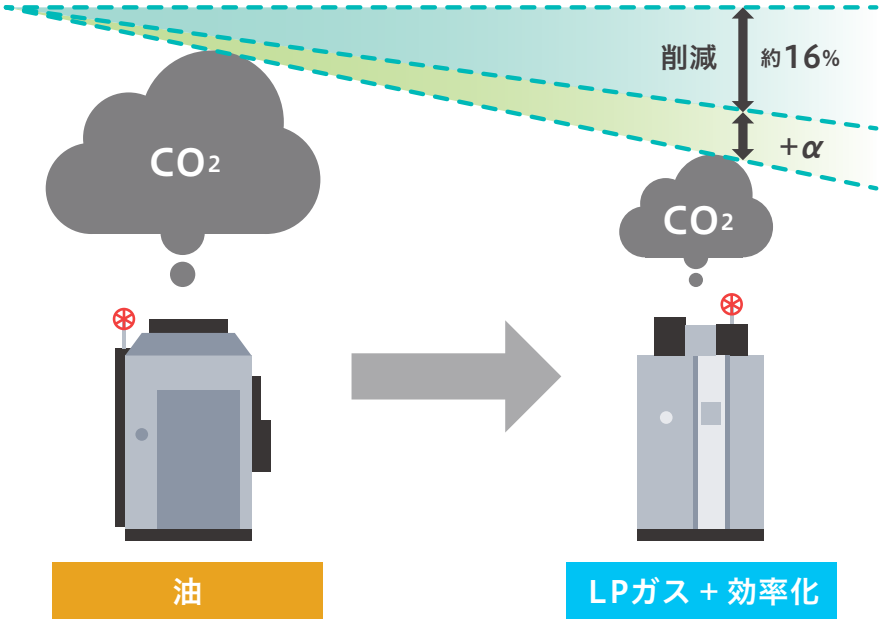
カーボンクレジットはLPガス業界を挙げて進める将来的なネットゼロへの取り組みに向けた、温室効果ガス削減努力の一翼を担う主要な柱の一つであって、自社の環境問題への取り組みを対外的にアピールするうえでの環境価値の高い商品としての営業政策上の単なるツールではない。
加えてクレジットの利用により生まれる環境価値はあくまで最終消費者に帰属するものである、という認識を全ての当事者が共有化することが必要である。
（自主ガイドライン第一章 一部抜粋）

■J－クレジットの創出について

ガス体エネルギーへの燃料転換によるJ－クレジットの創出については、方法論が既に確立。

J－クレジット方法論の例：EN-S-001ボイラーの導入

○油➡ガスへ切り替えるだけで約16%のCO_2が削減
○さらにボイラ効率UPで＋αのCO_2削減と省エネが可能



Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

1. 官民連携の強化

将来にわたり社会を支える重要なエネルギーとしての役割を果たすため、資源エネルギー庁をはじめとする各省庁と一層の連携強化を図るとともに、消費者・需要家・自治体・取引先産業等、LPガス業界外への情報発信・説明責任を果たす。

グリーンLPガス推進官民検討会

○2050年CN社会の実現に向け、グリーンLPガスの社会実装に向けたロードマップ作りや品質基準の統一化、または移行期間において燃焼機器の省エネ化による低炭素化を推進する上での課題等につき官民で共有化し協議するため、検討会を年2回、定期的に開催。



第8回推進官民検討会（2025年3月3日）

各省庁や地方自治体への働きかけ

○災害時に避難所となる学校体育館向け空調でのGHPの優位性について、全国LPガス協会と合同でLPガス仕様GHP導入事例集を作成、全国1,741市区町村の首長に送付し、直接的な訴求を図る。

○施設園芸分野でのCO_2排出削減について、営農用A重油からLPガスへの燃転によるCO_2排出削減効果等を関係省庁に説明の上、実証試験の実施を提案。





LPガス仕様GHP導入事例集（2025年6月発行）

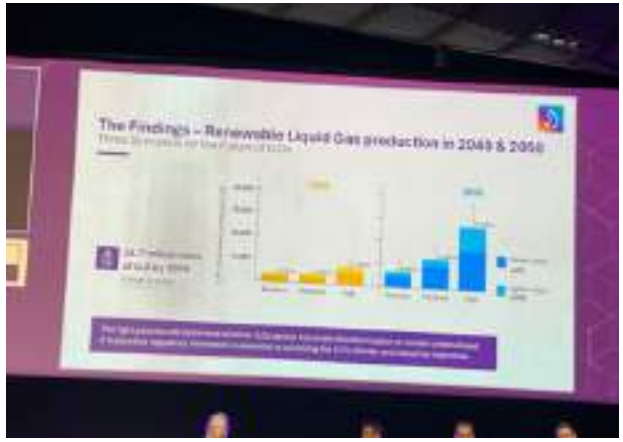
Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

2. 国際連携の一層の強化

継続したLPガスの安定調達、アジア・アフリカ等でのLPガスの利用促進支援、全世界的なグリーンLPガス実用化の実現のために、世界リキッドガス協会（WLGA）等を通じた国際連携の一層の強化を行う。

世界リキッドガス協会（WLGA）での活動

○LPガス事業者等により設立された国際的な機関であり、海外との情報受発信・共有の場として機能し、年3回の定例会議を開催。
○近年ではカーボンニュートラル関連が議題の中心。我が国としては、協調を図りつつ、国際貢献を含めて存在感を示す。



世界各国のLPガスのカーボンニュートラル化の進捗状況等についても報告

国際油濁補償基金（IOPCF）に係る会議への参加

○タンカー事故に伴う油濁損害が発生した際、被害者に補償を行うために設立。
○WLGAのオブザーバー・ステータスを行使し、年2回開催される会合へ出席。HNS条約※の動向把握等に努める。

※HNS条約：危険物質及び有害物質の海上輸送に関連する損害に対する責任並びに賠償に関する国際条約


HNS条約の条約発効に向けた、各国の動向確認やアウトリーチ活動等を実施

LPガス国際セミナーの開催

○LPガスの産ガス国・消費国等が集い、市場動向や課題、将来展望等の講演を行う国際的な会合、年1回東京で開催。（エルピーガス振興センター主催）
○対話を通じて、中東諸国を始めとする産ガス国との関係強化を図る貴重な機会として活用。また、日本LPガス協会も講演を実施。


2025年3月4～5日の2日間にわたり開催された「LPガス国際セミナー」の様子

Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

3.産業としての人材の確保・育成

少子高齢化社会の進行に対し、LPガス業界は業界認知度・イメージ向上、業務の効率化、地域との連携・貢献を果たしながら、業界が一丸となって人材確保・育成に取り組んでいく。

業界が一丸となって実行

認知度・イメージ向上

■LPガス及び業界の魅力発信、ブランディング
○LPガス業界の社会的意義・安定性
○安全・安心への貢献 等
■業界外への積極アピール
○関係省庁、地方自治体、マスコミ 等
■取引適正化対応の徹底

業務の効率化と事業強化

■DX推進による業務効率化
○IoT/LPWAデータ、AI活用による配送・保安等各種業務の効率化
■共同配送・保安体制の検討
○企業間・業種間を超えた連携
■継続的なコストダウン
○徹底した無駄の排除と標準化
■業界内外との連携
○事業者間の連携による業務の集約
○他業種との連携、提携・共同事業化の検討

地域との連携・貢献

■地域を支えるエネルギー供給企業・安定雇用創出先としてのアピール

■レジリエンス・生活サポート・セキュリティ等を起点とした地域課題解決への積極参画

人材の確保・育成

■若手・女性・再雇用人材の積極採用推進
○多様な人材が長期的に活躍できる環境を整備
■業界横断型の採用・福利厚生・キャリア形成支援
○全国・地域での共同活動を検討
■技能習得・人材育成支援の強化
○現在の資格取得にとどまらず、一企業では対応が難しい教育・研修プログラムを支援



Copyright Japan LP Gas Association All Rights Reserved.

2025年度
第4回業務委員会
資料№11-3

2026年度　本部年間主要行事予定表

2025年11月7日 現在
一般社団法人日本コミュニティーガス協会

		定時総会	理　事　会	常任理事会	業務委員会	技術委員会	事務局会議	そ　の　他　委　員　会
2025年度	2026年１月		１５	１５	１５	１５		１５　総務委員会 新春懇親会
	２月						１９	
	３月		１３	１３	４	５		１３　総務委員会
2026年度	４月							
	５月		１３	１３	P	P		WEB開催 １３　表彰選考委員会・総務委員会・（正副会長会議）
	６月	１７	１７	１７				懇親会
	７月				８	９		
	８月							
	９月		P	P				
	１０月				８～９	１５～１６		
	１１月						２６	
	１２月				９	１０		
	2027年１月		１４	１４	１４	１４		１４　総務委員会　新春懇親会
	２月						１８	
	３月		１７	１７	１０	１１		１７　総務委員会

（注）１．　*印は地方開催を示す。
　　2026 ［開催地］ *理事会、常任理事会：　　*業務委員会：　　*技術委員会：
　　２．　現在、確定しているものは、＿＿＿＿で示した。
　　３．　２０２６年度経済産業大臣表彰式は、２０２６年１１月１２日（木）開催予定。

2026年度行事

2026/5/1	金		
5/2	土		
5/3	日		
5/4	月		
5/5	火		
5/6	水		
5/7	木		
5/8	金		
5/9	土		
5/10	日		
5/11	月	近畿支部総会	
5/12	火		
5/13	水	常任理事会	理事会
5/14	木	業務委員会	
5/15	金		
5/16	土		
5/17	日		
5/18	月	東海支部総会	
5/19	火	九州支部総会	
5/20	水	北海道支部総会	沖縄支部総会
5/21	木	中国支部総会	〃
5/22	金	北陸支部総会	
5/23	土		
5/24	日		
5/25	月		
5/26	火	関東支部総会	
5/27	水	四国支部総会	
5/28	木	東北支部総会	
5/29	金		
5/30	土		
5/31	日		

2025年度
第4回業務委員会
資料(参考)№12-1

2025年8月分コミュニティーガス事業　生産動態統計の概況

2025/12/5

出典:ガス市場整備課　簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）（件）			
	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)
北海道	347	343	4	1.2%	141,529	141,256	273	0.2%	97,772	97,777	▲ 5	▲0.0%	79,401	80,096	▲ 695	▲0.9%	78,165	78,853	▲ 688	▲0.9%
東北	591	594	▲ 3	▲0.5%	151,379	152,081	▲ 702	▲0.5%	113,355	113,663	▲ 308	▲0.3%	89,843	90,913	▲ 1,070	▲1.2%	88,652	89,710	▲ 1,058	▲1.2%
関東	2,016	2,025	▲ 9	▲0.4%	518,015	519,391	▲ 1,376	▲0.3%	372,030	373,603	▲ 1,573	▲0.4%	313,268	315,675	▲ 2,407	▲0.8%	310,157	312,578	▲ 2,421	▲0.8%
中部	657	657	0	0.0%	176,549	176,741	▲ 192	▲0.1%	127,406	128,066	▲ 660	▲0.5%	107,358	107,929	▲ 571	▲0.5%	106,594	107,175	▲ 581	▲0.5%
北陸	269	270	▲ 1	▲0.4%	57,902	58,126	▲ 224	▲0.4%	36,891	37,219	▲ 328	▲0.9%	28,227	28,423	▲ 196	▲0.7%	27,978	28,180	▲ 202	▲0.7%
近畿	959	973	▲ 14	▲1.4%	202,830	208,595	▲ 5,765	▲2.8%	152,700	154,147	▲ 1,447	▲0.9%	115,992	117,883	▲ 1,891	▲1.6%	115,248	117,127	▲ 1,879	▲1.6%
中国	589	592	▲ 3	▲0.5%	134,841	135,153	▲ 312	▲0.2%	91,962	92,348	▲ 386	▲0.4%	72,673	73,316	▲ 643	▲0.9%	72,254	72,887	▲ 633	▲0.9%
四国	356	357	▲ 1	▲0.3%	72,620	72,844	▲ 224	▲0.3%	57,020	57,024	▲ 4	▲0.0%	41,659	41,999	▲ 340	▲0.8%	41,572	41,908	▲ 336	▲0.8%
九州	1,194	1,184	10	0.8%	304,406	303,724	682	0.2%	228,405	228,222	183	0.1%	186,956	188,038	▲ 1,082	▲0.6%	185,939	187,003	▲ 1,064	▲0.6%
沖縄	217	217	0	0.0%	36,341	36,060	281	0.8%	35,630	35,585	45	0.1%	31,858	31,513	345	1.1%	31,834	31,489	345	1.1%
全国	7,195	7,212	▲ 17	▲0.2%	1,796,412	1,803,971	▲ 7,559	▲0.4%	1,313,171	1,317,654	▲ 4,483	▲0.3%	1,067,235	1,075,785	▲ 8,550	▲0.8%	1,058,393	1,066,910	▲ 8,517	▲0.8%

※新規地点群　地点群…　地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）			
	当月			前年同月			前年同月比									
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	当月	前年同月	増減	前年比(%)
北海道	253,732	71,135	324,867	271,882	66,497	338,379	▲ 18,150	▲6.7%	4,638	7.0%	▲ 13,512	▲4.0%	3.2	3.4	▲ 0.2	▲5.9%
東北	407,809	149,037	556,846	451,516	152,978	604,494	▲ 43,707	▲9.7%	▲ 3,941	▲2.6%	▲ 47,648	▲7.9%	4.6	5.0	▲ 0.4	▲8.0%
関東	1,469,958	248,875	1,718,833	1,562,900	240,372	1,803,272	▲ 92,942	▲5.9%	8,503	3.5%	▲ 84,439	▲4.7%	4.7	5.0	▲ 0.3	▲6.0%
中部	476,784	47,127	523,911	510,432	48,992	559,424	▲ 33,648	▲6.6%	▲ 1,865	▲3.8%	▲ 35,513	▲6.3%	4.5	4.8	▲ 0.3	▲6.3%
北陸	103,591	21,581	125,172	113,731	22,397	136,128	▲ 10,140	▲8.9%	▲ 816	▲3.6%	▲ 10,956	▲8.0%	3.7	4.0	▲ 0.3	▲7.5%
近畿	480,286	41,031	521,317	513,968	42,306	556,274	▲ 33,682	▲6.6%	▲ 1,275	▲3.0%	▲ 34,957	▲6.3%	4.2	4.4	▲ 0.2	▲4.5%
中国	268,020	30,622	298,642	303,561	31,199	334,760	▲ 35,541	▲11.7%	▲ 577	▲1.8%	▲ 36,118	▲10.8%	3.7	4.2	▲ 0.5	▲11.9%
四国	165,176	6,125	171,301	171,499	6,257	177,756	▲ 6,323	▲3.7%	▲ 132	▲2.1%	▲ 6,455	▲3.6%	4.0	4.1	▲ 0.1	▲2.4%
九州	728,511	76,779	805,290	762,752	85,724	848,476	▲ 34,241	▲4.5%	▲ 8,945	▲10.4%	▲ 43,186	▲5.1%	3.9	4.1	▲ 0.2	▲4.9%
沖縄	123,492	1,595	125,087	111,783	1,690	113,473	11,709	10.5%	▲ 95	▲5.6%	11,614	10.2%	3.9	3.5	0.4	11.4%
全国	4,477,359	693,907	5,171,266	4,774,024	698,412	5,472,436	▲ 296,665	▲6.2%	▲ 4,505	▲0.6%	▲ 301,170	▲5.5%	4.2	4.5	▲ 0.3	▲6.7%

当月平均気温		
出典:気象庁		前年比
札幌	24.7℃	0.1℃
仙台	27.5℃	0.1℃
東京	29.6℃	0.6℃
名古屋	30.7℃	0.5℃
富山	28.8℃	0.2℃
大阪	30.8℃	0.4℃
広島	29.7℃	▲1.0℃
高松	30.6℃	0.0℃
福岡	29.9℃	▲0.6℃
那覇	29.5℃	▲0.7℃
全国	29.2℃	0.0℃

参考　2025年8月の一般ガス事業のお客様件数・ガス販売量実績

		当月	前年同月	増減	前年比(%)
お客さま件数（千戸）	家庭用	27,271	27,048	224	0.8%
	商業用他	1,189	1,187	2	0.2%
	計	28,460	28,234	226	0.8%

出典:経産省iP

		当月	前年同月	増減	前年比(%)
ガス販売量（千㎥）	家庭用	329,680	340,434	▲ 10,753	▲3.2%
	商業用他	2,506,810	2,583,131	▲ 76,321	▲3.0%
	計	2,836,491	2,923,565	▲ 87,074	▲3.0%

（41.8605MJ=1万kcal換算）

2025年8月分コミュニティーガス事業　生産動態統計の概況

2024年度累計（4月-8月） コミュニティーガス事業生産動態統計の概況

出典：ガス市場整備課　簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）（件）			
	2025年度累計（4月-8月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-8月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-8月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-8月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-8月）	前年同期	増減	前年比（%）
北海道	1,728	1,715	13	0.8%	707,101	706,270	831	0.1%	488,658	489,404	▲ 746	▲0.2%	397,604	401,849	▲ 4,245	▲1.1%	391,372	395,547	▲ 4,175	▲ 1.1%
東北	2,956	2,973	▲ 17	▲0.6%	756,904	760,594	▲ 3,690	▲0.5%	567,093	568,450	▲ 1,357	▲0.2%	449,768	454,931	▲ 5,163	▲1.1%	443,821	448,914	▲ 5,093	▲ 1.1%
関東	10,086	10,134	▲ 48	▲0.5%	2,591,559	2,597,891	▲ 6,332	▲0.2%	1,861,474	1,869,342	▲ 7,868	▲0.4%	1,568,966	1,582,653	▲ 13,687	▲0.9%	1,553,398	1,567,068	▲ 13,670	▲ 0.9%
中部	3,285	3,284	1	0.0%	882,742	884,075	▲ 1,333	▲0.2%	637,242	640,872	▲ 3,630	▲0.6%	537,255	540,300	▲ 3,045	▲0.6%	533,465	536,512	▲ 3,047	▲ 0.6%
北陸	1,345	1,350	▲ 5	▲0.4%	289,510	290,704	▲ 1,194	▲0.4%	184,508	186,367	▲ 1,859	▲1.0%	141,091	142,273	▲ 1,182	▲0.8%	139,891	141,056	▲ 1,165	▲ 0.8%
近畿	4,824	4,894	▲ 70	▲1.4%	1,019,127	1,051,955	▲ 32,828	▲3.1%	765,928	772,396	▲ 6,468	▲0.8%	582,129	592,311	▲ 10,182	▲1.7%	578,434	588,588	▲ 10,154	▲ 1.7%
中国	2,945	2,957	▲ 12	▲0.4%	674,301	675,647	▲ 1,346	▲0.2%	460,140	461,863	▲ 1,723	▲0.4%	364,703	367,691	▲ 2,988	▲0.8%	362,600	365,550	▲ 2,950	▲ 0.8%
四国	1,780	1,772	8	0.5%	363,149	362,595	554	0.2%	285,272	284,567	705	0.2%	208,828	210,288	▲ 1,460	▲0.7%	208,388	209,834	▲ 1,446	▲ 0.7%
九州	5,967	5,923	44	0.7%	1,521,382	1,518,174	3,208	0.2%	1,142,715	1,141,569	1,146	0.1%	936,905	942,299	▲ 5,394	▲0.6%	931,810	937,125	▲ 5,315	▲ 0.6%
沖縄	1,085	1,084	1	0.1%	181,644	180,291	1,353	0.8%	178,164	177,928	236	0.1%	158,600	156,600	2,000	1.3%	158,480	156,480	2,000	1.3%
全国	36,001	36,086	▲ 85	▲0.2%	8,987,419	9,028,196	▲ 40,777	▲0.5%	6,571,194	6,592,758	▲ 21,564	▲0.3%	5,345,849	5,391,195	▲ 45,346	▲0.8%	5,301,659	5,346,674	▲ 45,015	▲ 0.8%

※新規地点群　累計　　地点群…地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）			
	2025年度累計(4月-8月)			前年同期			前年比									
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	2025年度累計（4月-8月）	前年同期	増減	前年比（%）
北海道	2,314,240	455,397	2,769,637	2,257,423	413,321	2,670,744	56,817	2.5%	42,076	10.2%	98,893	3.7%	5.9	5.7	0.2	3.5%
東北	3,399,301	654,249	4,053,550	3,436,978	616,706	4,053,684	▲ 37,677	▲1.1%	37,543	6.1%	▲ 134	▲0.0%	7.7	7.7	0.0	0.0%
関東	13,116,531	1,353,308	14,469,839	13,422,198	1,317,106	14,739,304	▲ 305,667	▲2.3%	36,202	2.7%	▲ 269,465	▲1.8%	8.4	8.6	▲ 0.2	▲2.3%
中部	4,413,857	251,360	4,665,217	4,585,192	258,272	4,843,464	▲ 171,335	▲3.7%	▲ 6,912	▲2.7%	▲ 178,247	▲3.7%	8.3	8.5	▲ 0.2	▲2.4%
北陸	903,905	129,850	1,033,755	911,397	131,027	1,042,424	▲ 7,492	▲0.8%	▲ 1,177	▲0.9%	▲ 8,669	▲0.8%	6.5	6.5	0.0	0.0%
近畿	4,496,872	233,674	4,730,546	4,684,981	239,785	4,924,766	▲ 188,109	▲4.0%	▲ 6,111	▲2.5%	▲ 194,220	▲3.9%	7.8	8.0	▲ 0.2	▲2.5%
中国	2,677,177	130,953	2,808,130	2,744,229	128,293	2,872,522	▲ 67,052	▲2.4%	2,660	2.1%	▲ 64,392	▲2.2%	7.4	7.5	▲ 0.1	▲1.3%
四国	1,398,064	29,419	1,427,483	1,437,468	28,156	1,465,624	▲ 39,404	▲2.7%	1,263	4.5%	▲ 38,141	▲2.6%	6.7	6.9	▲ 0.2	▲2.9%
九州	6,416,364	362,018	6,778,382	6,416,078	366,765	6,782,843	286	0.0%	▲ 4,747	▲1.3%	▲ 4,461	▲0.1%	6.9	6.8	0.1	1.5%
沖縄	859,124	7,153	866,277	781,403	7,418	788,821	77,721	9.9%	▲ 265	▲3.6%	77,456	9.8%	5.4	5.0	0.4	8.0%
全国	39,995,435	3,607,381	43,602,816	40,677,347	3,506,849	44,184,196	▲ 681,912	▲1.7%	100,532	2.9%	▲ 581,380	▲1.3%	7.5	7.6	▲ 0.1	▲1.3%

2025年度累計(4月-8月) 平均気温		
出典：気象庁		前年比
札幌	18.9℃	0.6℃
仙台	21.1℃	▲0.4℃
東京	23.5℃	▲0.1℃
名古屋	24.1℃	▲0.0℃
富山	22.5℃	0.1℃
大阪	24.5℃	0.3℃
広島	23.9℃	▲0.2℃
高松	24.3℃	0.2℃
福岡	24.1℃	▲0.3℃
那覇	26.4℃	▲0.8℃
全国	23.3℃	▲ 0.1

参考　2025年度(4月-8月)累計　一般ガス事業のガス販売量実績

出典：経産省iP

		当年4月－8月	前年同期	増減	前年比（%）
お客さま件数（千戸）	家庭用	136,368	135,304	1,064	0.8%
	商業用他	5,967	5,958	9	0.1%
	計	142,335	141,262	1,073	0.8%

		当年4月－8月	前年同期	増減	前年比（%）
ガス販売量（千㎥）	家庭用	3,023,170	3,025,041	▲ 1,871	▲ 0.1%
	商業用他	11,532,071	11,529,666	2,405	0.0%
	計	14,555,242	14,554,707	534	0.0%

（41.8605MJ=1万kcal換算）

2025年累計（1月-8月） コミュニティーガス事業生産動態統計の概況

出典：ガス市場整備課　簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）（件）			
	2025年累計(1月-8	前年同期	増減	前年比（%）	2025年累計(1月-8	前年同期	増減	2025年累計（1月-8月）	2025年累計（1月-8月）	前年同期	増減	2025年累計(1月-8	2025年累計（1月-8月）	前年同期	増減	2025年累計（1月-8月）	2025年累計（1月-8月）	前年同期	増減	2025年累計（1月-8月）
北海道	2,762	2,743	19	0.7%	1,131,117	1,130,059	1,058	0.1%	781,840	783,729	▲ 1,889	▲0.2%	636,798	644,086	▲ 7,288	▲1.1%	626,775	633,896	▲ 7,121	▲ 1.1%
東　北	4,732	4,753	▲ 21	▲0.4%	1,211,613	1,216,476	▲ 4,863	▲0.4%	907,710	908,709	▲ 999	▲0.1%	720,146	727,980	▲ 7,834	▲1.1%	710,626	718,216	▲ 7,590	▲ 1.1%
関　東	16,133	16,210	▲ 77	▲0.5%	4,146,156	4,155,134	▲ 8,978	▲0.2%	2,979,332	2,989,555	▲ 10,223	▲0.3%	2,512,844	2,533,881	▲ 21,037	▲0.8%	2,487,924	2,508,887	▲ 20,963	▲ 0.8%
中　部	5,253	5,247	6	0.1%	1,412,183	1,413,625	▲ 1,442	▲0.1%	1,019,653	1,024,756	▲ 5,103	▲0.5%	860,214	864,838	▲ 4,624	▲0.5%	854,176	858,746	▲ 4,570	▲ 0.5%
北　陸	2,155	2,160	▲ 5	▲0.2%	463,600	465,140	▲ 1,540	▲0.3%	295,644	298,597	▲ 2,953	▲1.0%	225,803	227,214	▲ 1,411	▲0.6%	223,904	225,262	▲ 1,358	▲ 0.6%
近　畿	7,727	7,842	▲ 115	▲1.5%	1,635,512	1,680,264	▲ 44,752	▲2.7%	1,226,603	1,230,913	▲ 4,310	▲0.4%	933,086	944,823	▲ 11,737	▲1.2%	927,150	938,798	▲ 11,648	▲ 1.2%
中　国	4,708	4,732	▲ 24	▲0.5%	1,078,025	1,081,428	▲ 3,403	▲0.3%	735,554	739,201	▲ 3,647	▲0.5%	583,214	589,397	▲ 6,183	▲1.0%	579,836	585,962	▲ 6,126	▲ 1.0%
四　国	2,849	2,828	21	0.7%	581,357	579,412	1,945	0.3%	456,257	454,762	1,495	0.3%	334,500	336,568	▲ 2,068	▲0.6%	333,793	335,839	▲ 2,046	▲ 0.6%
九　州	9,528	9,446	82	0.9%	2,432,769	2,424,303	8,466	0.3%	1,827,804	1,822,397	5,407	0.3%	1,499,662	1,506,826	▲ 7,164	▲0.5%	1,491,455	1,498,493	▲ 7,038	▲ 0.5%
沖　縄	1,737	1,727	10	0.6%	290,300	287,773	2,527	0.9%	284,751	283,991	760	0.3%	253,670	250,403	3,267	1.3%	253,478	250,211	3,267	1.3%
全　国	57,584	57,688	▲ 104	▲0.2%	14,382,632	14,433,614	▲ 50,982	▲0.4%	10,515,148	10,536,610	▲ 21,462	▲0.2%	8,559,937	8,626,016	▲ 66,079	▲0.8%	8,489,117	8,554,310	▲ 65,193	▲ 0.8%

※新規地点群　累計　　地点群…地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）				2025年累計（1月-8月）平均気温		
	2025年累計（1月-8月）			前年同月累計			前年比										出典：気象庁		
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	2025年累計（1月-8月）	前年同月累計	増　減	前年比（%）			前年比
北海道	5,309,680	1,099,761	6,409,441	5,435,016	1,039,573	6,474,589	▲ 125,336	▲2.3%	60,188	5.8%	▲ 65,148	▲1.0%	8.3	8.4	▲ 0.1	▲1.2%	札幌	11.8℃	0.7℃
東　北	6,548,069	1,268,449	7,816,518	6,630,820	1,204,503	7,835,323	▲ 82,751	▲1.2%	63,946	5.3%	▲ 18,805	▲0.2%	9.1	9.1	0.0	0.0%	仙台	14.9℃	▲0.4℃
関　東	27,003,705	2,836,883	29,840,588	27,393,884	2,685,500	30,079,384	▲ 390,179	▲1.4%	151,383	5.6%	▲ 238,796	▲0.8%	10.7	10.8	▲ 0.1	▲0.9%	東京	17.7℃	▲0.2℃
中　部	9,439,728	481,057	9,920,785	9,591,798	487,821	10,079,619	▲ 152,070	▲1.6%	▲ 6,764	▲1.4%	▲ 158,834	▲1.6%	11.0	11.1	▲ 0.1	▲0.9%	名古屋	17.6℃	▲0.3℃
北　陸	1,807,566	230,725	2,038,291	1,803,395	232,580	2,035,975	4,171	0.2%	▲ 1,855	▲0.8%	2,316	0.1%	8.0	7.9	0.1	1.3%	富山	15.9℃	▲0.2℃
近　畿	9,281,996	425,013	9,707,009	9,429,532	438,243	9,867,775	▲ 147,536	▲1.6%	▲ 13,230	▲3.0%	▲ 160,766	▲1.6%	9.9	10.0	▲ 0.1	▲1.0%	大阪	18.2℃	▲0.1℃
中　国	5,719,843	271,144	5,990,987	5,766,264	262,131	6,028,395	▲ 46,421	▲0.8%	9,013	3.4%	▲ 37,408	▲0.6%	9.8	9.8	0.0	0.0%	広島	17.5℃	▲0.6℃
四　国	2,856,409	48,253	2,904,662	2,887,321	46,079	2,933,400	▲ 30,912	▲1.1%	2,174	4.7%	▲ 28,738	▲1.0%	8.5	8.6	▲ 0.1	▲1.2%	高松	17.9℃	▲0.2℃
九　州	13,280,085	624,023	13,904,108	13,165,221	611,344	13,776,565	114,864	0.9%	12,679	2.1%	127,543	0.9%	8.9	8.7	0.2	2.3%	福岡	18.1℃	▲0.8℃
沖　縄	1,619,860	10,505	1,630,365	1,489,363	11,129	1,500,492	130,497	8.8%	▲ 624	▲5.6%	129,873	8.7%	6.4	5.9	0.5	8.5%	那覇	23.0℃	▲1.2℃
全　国	82,866,941	7,295,813	90,162,754	83,592,614	7,018,903	90,611,517	▲ 725,673	▲0.9%	276,910	3.9%	▲ 448,763	▲0.5%	9.7	9.7	0.0	0.0%	全国	17.3℃	▲0.3℃

参考　2025年(1月－8月)累計　一般ガス事業のガス販売量実績

		当年1月－8月	前年同期	増　減	前年比(%)
お客さま件数（千戸）	家庭用	217,813	216,079	1,734	0.8%
	商業用他	9,560	9,558	1	0.0%
	計	227,372	225,638	1,735	0.8%

出典：経産省iP

		当年1月－8月	前年同期	増減	前年比(%)
ガス販売量（千㎥）	家庭用	6,376,677	6,675,898	▲ 299,221	▲ 4.5%
	商業用他	18,869,767	19,399,983	▲ 530,216	▲ 2.7%
	計	25,246,444	26,075,881	▲ 829,437	▲ 3.2%

（41.8605MJ=1万kcal換算）

2025年9月分コミュニティーガス事業　生産動態統計の概況

2025/12/5

出典:ガス市場整備課　簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）（件）			
	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)
北海道	347	343	4	1.2%	141,521	141,208	313	0.2%	97,699	97,704	▲ 5	▲0.0%	79,288	79,997	▲ 709	▲0.9%	78,052	78,751	▲ 699	▲0.9%
東北	591	594	▲ 3	▲0.5%	151,375	152,113	▲ 738	▲0.5%	113,301	113,671	▲ 370	▲0.3%	89,698	90,783	▲ 1,085	▲1.2%	88,511	89,582	▲ 1,071	▲1.2%
関東	2,016	2,024	▲ 8	▲0.4%	517,899	519,483	▲ 1,584	▲0.3%	371,804	373,589	▲ 1,785	▲0.5%	313,019	315,296	▲ 2,277	▲0.7%	309,934	312,198	▲ 2,264	▲0.7%
中部	657	657	0	0.0%	176,555	176,744	▲ 189	▲0.1%	127,303	128,001	▲ 698	▲0.5%	107,296	107,882	▲ 586	▲0.5%	106,533	107,128	▲ 595	▲0.6%
北陸	269	270	▲ 1	▲0.4%	57,902	58,126	▲ 224	▲0.4%	36,854	37,211	▲ 357	▲1.0%	28,164	28,376	▲ 212	▲0.7%	27,912	28,134	▲ 222	▲0.8%
近畿	958	971	▲ 13	▲1.3%	202,589	208,293	▲ 5,704	▲2.7%	152,619	153,982	▲ 1,363	▲0.9%	115,868	117,696	▲ 1,828	▲1.6%	115,125	116,938	▲ 1,813	▲1.6%
中国	589	592	▲ 3	▲0.5%	134,841	135,115	▲ 274	▲0.2%	91,894	92,172	▲ 278	▲0.3%	72,654	73,224	▲ 570	▲0.8%	72,232	72,796	▲ 564	▲0.8%
四国	357	357	0	0.0%	72,729	72,844	▲ 115	▲0.2%	57,129	57,020	109	0.2%	41,679	41,928	▲ 249	▲0.6%	41,592	41,837	▲ 245	▲0.6%
九州	1,195	1,185	10	0.8%	304,513	303,794	719	0.2%	228,419	228,294	125	0.1%	186,997	187,928	▲ 931	▲0.5%	185,984	186,890	▲ 906	▲0.5%
沖縄	218	216	2	0.9%	36,443	35,867	576	1.6%	35,732	35,392	340	1.0%	31,898	31,515	383	1.2%	31,875	31,491	384	1.2%
全国	7,197	7,209	▲ 12	▲0.2%	1,796,367	1,803,587	▲ 7,220	▲0.4%	1,312,754	1,317,036	▲ 4,282	▲0.3%	1,066,561	1,074,625	▲ 8,064	▲0.8%	1,057,750	1,065,745	▲ 7,995	▲0.8%

※新規地点群　地点群…　地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）			
	当月			前年同月			前年同月比									
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	当月	前年同月	増減	前年比(%)
北海道	254,055	62,829	316,884	263,684	60,975	324,659	▲ 9,629	▲3.7%	1,854	3.0%	▲ 7,775	▲2.4%	3.3	3.3	0.0	0.0%
東北	398,441	131,573	530,014	419,134	140,592	559,726	▲ 20,693	▲4.9%	▲ 9,019	▲6.4%	▲ 29,712	▲5.3%	4.5	4.7	▲ 0.2	▲4.3%
関東	1,373,895	243,988	1,617,883	1,457,214	227,676	1,684,890	▲ 83,319	▲5.7%	16,312	7.2%	▲ 67,007	▲4.0%	4.4	4.7	▲ 0.3	▲6.4%
中部	431,469	49,148	480,617	467,755	50,007	517,762	▲ 36,286	▲7.8%	▲ 859	▲1.7%	▲ 37,145	▲7.2%	4.1	4.4	▲ 0.3	▲6.8%
北陸	98,078	26,894	124,972	103,286	26,986	130,272	▲ 5,208	▲5.0%	▲ 92	▲0.3%	▲ 5,300	▲4.1%	3.5	3.7	▲ 0.2	▲5.4%
近畿	462,589	43,259	505,848	469,263	45,333	514,596	▲ 6,674	▲1.4%	▲ 2,074	▲4.6%	▲ 8,748	▲1.7%	4.0	4.0	0.0	0.0%
中国	261,627	30,024	291,651	266,646	28,726	295,372	▲ 5,019	▲1.9%	1,298	4.5%	▲ 3,721	▲1.3%	3.6	3.7	▲ 0.1	▲2.7%
四国	155,855	5,817	161,672	161,019	6,192	167,211	▲ 5,164	▲3.2%	▲ 375	▲6.1%	▲ 5,539	▲3.3%	3.7	3.8	▲ 0.1	▲2.6%
九州	713,168	74,967	788,135	706,762	80,548	787,310	6,406	0.9%	▲ 5,581	▲6.9%	825	0.1%	3.8	3.8	0.0	0.0%
沖縄	115,852	1,593	117,445	112,019	1,599	113,618	3,833	3.4%	▲ 6	▲0.4%	3,827	3.4%	3.6	3.6	0.0	0.0%
全国	4,265,029	670,092	4,935,121	4,426,782	668,634	5,095,416	▲ 161,753	▲3.7%	1,458	0.2%	▲ 160,295	▲3.1%	4.0	4.2	▲ 0.2	▲4.8%

当月平均気温		
出典:気象庁		前年比
札幌	20.7℃	0.8℃
仙台	23.8℃	0.3℃
東京	26.5℃	▲0.1℃
名古屋	27.5℃	▲0.7℃
富山	25.6℃	▲0.6℃
大阪	28.1℃	▲0.5℃
広島	27.0℃	▲1.8℃
高松	27.7℃	▲0.8℃
福岡	28.0℃	▲0.8℃
那覇	29.7℃	0.9℃
全国	26.5℃	−0.3℃

参考　2025年9月の一般ガス事業のお客様件数・ガス販売量実績

		当月	前年同月	増減	前年比(%)
お客さま件数（千戸）	家庭用	27,276	27,059	217	0.8%
	商業用他	1,189	1,186	3	0.3%
	計	28,465	28,245	220	0.8%

出典:経産省iP

		当月	前年同月	増減	前年比(%)
ガス販売量（千㎥）	家庭用	301,227	319,747	▲ 18,520	▲5.8%
	商業用他	2,577,383	2,588,066	▲ 10,682	▲0.4%
	計	2,878,611	2,907,812	▲ 29,202	▲1.0%

（41.8605MJ=1万kcal換算）

2025年9月分コミュニティーガス事業　生産動態統計の概況

2024年度累計（4月-9月） コミュニティーガス事業生産動態統計の概況

出典：ガス市場整備課　簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）（件）			
	2025年度累計（4月-9月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-9月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-9月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-9月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-9月）	前年同期	増減	前年比（%）
北海道	2,075	2,058	17	0.8%	848,622	847,478	1,144	0.1%	586,357	587,108	▲ 751	▲0.1%	476,892	481,846	▲ 4,954	▲1.0%	469,424	474,298	▲ 4,874	▲ 1.0%
東北	3,547	3,567	▲ 20	▲0.6%	908,279	912,707	▲ 4,428	▲0.5%	680,394	682,121	▲ 1,727	▲0.3%	539,466	545,714	▲ 6,248	▲1.1%	532,332	538,496	▲ 6,164	▲ 1.1%
関東	12,102	12,158	▲ 56	▲0.5%	3,109,458	3,117,374	▲ 7,916	▲0.3%	2,233,278	2,242,931	▲ 9,653	▲0.4%	1,881,985	1,897,949	▲ 15,964	▲0.8%	1,863,332	1,879,266	▲ 15,934	▲ 0.8%
中部	3,942	3,941	1	0.0%	1,059,297	1,060,819	▲ 1,522	▲0.1%	764,545	768,873	▲ 4,328	▲0.6%	644,551	648,182	▲ 3,631	▲0.6%	639,998	643,640	▲ 3,642	▲ 0.6%
北陸	1,614	1,620	▲ 6	▲0.4%	347,412	348,830	▲ 1,418	▲0.4%	221,362	223,578	▲ 2,216	▲1.0%	169,255	170,649	▲ 1,394	▲0.8%	167,803	169,190	▲ 1,387	▲ 0.8%
近畿	5,782	5,865	▲ 83	▲1.4%	1,221,716	1,260,248	▲ 38,532	▲3.1%	918,547	926,378	▲ 7,831	▲0.8%	697,997	710,007	▲ 12,010	▲1.7%	693,559	705,526	▲ 11,967	▲ 1.7%
中国	3,534	3,549	▲ 15	▲0.4%	809,142	810,762	▲ 1,620	▲0.2%	552,034	554,035	▲ 2,001	▲0.4%	437,357	440,915	▲ 3,558	▲0.8%	434,832	438,346	▲ 3,514	▲ 0.8%
四国	2,137	2,129	8	0.4%	435,878	435,439	439	0.1%	342,401	341,587	814	0.2%	250,507	252,216	▲ 1,709	▲0.7%	249,980	251,671	▲ 1,691	▲ 0.7%
九州	7,162	7,108	54	0.8%	1,825,895	1,821,968	3,927	0.2%	1,371,134	1,369,863	1,271	0.1%	1,123,902	1,130,227	▲ 6,325	▲0.6%	1,117,794	1,124,015	▲ 6,221	▲ 0.6%
沖縄	1,303	1,300	3	0.2%	218,087	216,158	1,929	0.9%	213,896	213,320	576	0.3%	190,498	188,115	2,383	1.3%	190,355	187,971	2,384	1.3%
全国	43,198	43,295	▲ 97	▲0.2%	10,783,786	10,831,783	▲ 47,997	▲0.4%	7,883,948	7,909,794	▲ 25,846	▲0.3%	6,412,410	6,465,820	▲ 53,410	▲0.8%	6,359,409	6,412,419	▲ 53,010	▲ 0.8%

※新規地点群　累計　　地点群…地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）			
	2025年度累計(4月-9月)			前年同期			前年比									
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	2025年度累計（4月-9月）	前年同期	増減	前年比（%）
北海道	2,568,295	518,226	3,086,521	2,521,107	474,296	2,995,403	47,188	1.9%	43,930	9.3%	91,118	3.0%	5.5	5.3	0.2	3.8%
東北	3,797,742	785,822	4,583,564	3,856,112	757,298	4,613,410	▲ 58,370	▲1.5%	28,524	3.8%	▲ 29,846	▲0.6%	7.1	7.2	▲ 0.1	▲1.4%
関東	14,490,426	1,597,296	16,087,722	14,879,412	1,544,782	16,424,194	▲ 388,986	▲2.6%	52,514	3.4%	▲ 336,472	▲2.0%	7.8	7.9	▲ 0.1	▲1.3%
中部	4,845,326	300,508	5,145,834	5,052,947	308,279	5,361,226	▲ 207,621	▲4.1%	▲ 7,771	▲2.5%	▲ 215,392	▲4.0%	7.6	7.9	▲ 0.3	▲3.8%
北陸	1,001,983	156,744	1,158,727	1,014,683	158,013	1,172,696	▲ 12,700	▲1.3%	▲ 1,269	▲0.8%	▲ 13,969	▲1.2%	6.0	6.0	0.0	0.0%
近畿	4,959,461	276,933	5,236,394	5,154,244	285,118	5,439,362	▲ 194,783	▲3.8%	▲ 8,185	▲2.9%	▲ 202,968	▲3.7%	7.2	7.3	▲ 0.1	▲1.4%
中国	2,938,804	160,977	3,099,781	3,010,875	157,019	3,167,894	▲ 72,071	▲2.4%	3,958	2.5%	▲ 68,113	▲2.2%	6.8	6.9	▲ 0.1	▲1.4%
四国	1,553,919	35,236	1,589,155	1,598,487	34,348	1,632,835	▲ 44,568	▲2.8%	888	2.6%	▲ 43,680	▲2.7%	6.2	6.4	▲ 0.2	▲3.1%
九州	7,129,532	436,985	7,566,517	7,122,840	447,313	7,570,153	6,692	0.1%	▲ 10,328	▲2.3%	▲ 3,636	▲0.0%	6.4	6.3	0.1	1.6%
沖縄	974,976	8,746	983,722	893,422	9,017	902,439	81,554	9.1%	▲ 271	▲3.0%	81,283	9.0%	5.1	4.8	0.3	6.3%
全国	44,260,464	4,277,473	48,537,937	45,104,129	4,175,483	49,279,612	▲ 843,665	▲1.9%	101,990	2.4%	▲ 741,675	▲1.5%	7.0	7.0	0.0	0.0%

2025年度累計(4月-9月) 平均気温		
	出典：気象庁	前年比
札幌	19.2℃	0.6℃
仙台	21.6℃	▲0.3℃
東京	24.0℃	▲0.1℃
名古屋	24.7℃	▲0.2℃
富山	23.0℃	0.0℃
大阪	25.1℃	0.1℃
広島	24.4℃	▲0.4℃
高松	24.9℃	0.0℃
福岡	24.8℃	▲0.4℃
那覇	27.0℃	▲0.6℃
全国	23.9℃	▲ 0.1

参考　2025年度(4月-9月)累計　一般ガス事業のガス販売量実績

出典：経産省iP

		当年4月－9月	前年同期	増減	前年比（%）
お客さま件数（千戸）	家庭用	163,644	162,363	1,281	0.8%
	商業用他	7,156	7,144	12	0.2%
	計	170,800	169,507	1,293	0.8%

		当年4月－9月	前年同期	増減	前年比（%）
ガス販売量（千㎥）	家庭用	3,324,397	3,344,788	▲ 20,390	▲ 0.6%
	商業用他	14,109,455	14,117,732	▲ 8,277	▲ 0.1%
	計	17,433,852	17,462,520	▲ 28,668	▲ 0.2%

（41.8605MJ=1万kcal換算）

2025年累計（1月-9月） コミュニティーガス事業生産動態統計の概況

出典：ガス市場整備課　簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）（件）			
	2025年累計(1月-9	前年同期	増減	前年比（%）	2025年累計(1月-9	前年同期	増減	2025年累計（1月-9月）	2025年累計（1月-9月）	前年同期	増減	2025年累計(1月-9	2025年累計（1月-9月）	前年同期	増減	2025年累計（1月-9月）	2025年累計（1月-9月）	前年同期	増減	2025年累計（1月-9月）
北海道	3,109	3,086	23	0.7%	1,272,638	1,271,267	1,371	0.1%	879,539	881,433	▲ 1,894	▲0.2%	716,086	724,083	▲ 7,997	▲1.1%	704,827	712,647	▲ 7,820	▲ 1.1%
東北	5,323	5,347	▲ 24	▲0.4%	1,362,988	1,368,589	▲ 5,601	▲0.4%	1,021,011	1,022,380	▲ 1,369	▲0.1%	809,844	818,763	▲ 8,919	▲1.1%	799,137	807,798	▲ 8,661	▲ 1.1%
関東	18,149	18,234	▲ 85	▲0.5%	4,664,055	4,674,617	▲ 10,562	▲0.2%	3,351,136	3,363,144	▲ 12,008	▲0.4%	2,825,863	2,849,177	▲ 23,314	▲0.8%	2,797,858	2,821,085	▲ 23,227	▲ 0.8%
中部	5,910	5,904	6	0.1%	1,588,738	1,590,369	▲ 1,631	▲0.1%	1,146,956	1,152,757	▲ 5,801	▲0.5%	967,510	972,720	▲ 5,210	▲0.5%	960,709	965,874	▲ 5,165	▲ 0.5%
北陸	2,424	2,430	▲ 6	▲0.2%	521,502	523,266	▲ 1,764	▲0.3%	332,498	335,808	▲ 3,310	▲1.0%	253,967	255,590	▲ 1,623	▲0.6%	251,816	253,396	▲ 1,580	▲ 0.6%
近畿	8,685	8,813	▲ 128	▲1.5%	1,838,101	1,888,557	▲ 50,456	▲2.7%	1,379,222	1,384,895	▲ 5,673	▲0.4%	1,048,954	1,062,519	▲ 13,565	▲1.3%	1,042,275	1,055,736	▲ 13,461	▲ 1.3%
中国	5,297	5,324	▲ 27	▲0.5%	1,212,866	1,216,543	▲ 3,677	▲0.3%	827,448	831,373	▲ 3,925	▲0.5%	655,868	662,621	▲ 6,753	▲1.0%	652,068	658,758	▲ 6,690	▲ 1.0%
四国	3,206	3,185	21	0.7%	654,086	652,256	1,830	0.3%	513,386	511,782	1,604	0.3%	376,179	378,496	▲ 2,317	▲0.6%	375,385	377,676	▲ 2,291	▲ 0.6%
九州	10,723	10,631	92	0.9%	2,737,282	2,728,097	9,185	0.3%	2,056,223	2,050,691	5,532	0.3%	1,686,659	1,694,754	▲ 8,095	▲0.5%	1,677,439	1,685,383	▲ 7,944	▲ 0.5%
沖縄	1,955	1,943	12	0.6%	326,743	323,640	3,103	1.0%	320,483	319,383	1,100	0.3%	285,568	281,918	3,650	1.3%	285,353	281,702	3,651	1.3%
全国	64,781	64,897	▲ 116	▲0.2%	16,178,999	16,237,201	▲ 58,202	▲0.4%	11,827,902	11,853,646	▲ 25,744	▲0.2%	9,626,498	9,700,641	▲ 74,143	▲0.8%	9,546,867	9,620,055	▲ 73,188	▲ 0.8%

※新規地点群　累計　　地点群…地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）				2025年累計（1月-8月）平均気温		
	2025年累計（1月-8月）			前年同月累計			前年比										出典：気象庁		
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	2025年累計（1月-8月）	前年同月累計	増減	前年比（%）			前年比
北海道	5,563,735	1,162,590	6,726,325	5,698,700	1,100,548	6,799,248	▲ 134,965	▲2.4%	62,042	5.6%	▲ 72,923	▲1.1%	7.8	7.9	▲ 0.1	▲1.3%	札幌	12.8℃	0.7℃
東北	6,946,510	1,400,022	8,346,532	7,049,954	1,345,095	8,395,049	▲ 103,444	▲1.5%	54,927	4.1%	▲ 48,517	▲0.6%	8.6	8.6	0.0	0.0%	仙台	15.9℃	▲0.3℃
関東	28,377,600	3,080,871	31,458,471	28,851,098	2,913,176	31,764,274	▲ 473,498	▲1.6%	167,695	5.8%	▲ 305,803	▲1.0%	10.0	10.1	▲ 0.1	▲1.0%	東京	18.6℃	▲0.2℃
中部	9,871,197	530,205	10,401,402	10,059,553	537,828	10,597,381	▲ 188,356	▲1.9%	▲ 7,623	▲1.4%	▲ 195,979	▲1.8%	10.2	10.3	▲ 0.1	▲1.0%	名古屋	18.7℃	▲0.4℃
北陸	1,905,644	257,619	2,163,263	1,906,681	259,566	2,166,247	▲ 1,037	▲0.1%	▲ 1,947	▲0.8%	▲ 2,984	▲0.1%	7.5	7.5	0.0	0.0%	富山	17.0℃	▲0.2℃
近畿	9,744,585	468,272	10,212,857	9,898,795	483,576	10,382,371	▲ 154,210	▲1.6%	▲ 15,304	▲3.2%	▲ 169,514	▲1.6%	9.3	9.3	0.0	0.0%	大阪	19.3℃	▲0.1℃
中国	5,981,470	301,168	6,282,638	6,032,910	290,857	6,323,767	▲ 51,440	▲0.9%	10,311	3.5%	▲ 41,129	▲0.7%	9.1	9.1	0.0	0.0%	広島	18.5℃	▲0.8℃
四国	3,012,264	54,070	3,066,334	3,048,340	52,271	3,100,611	▲ 36,076	▲1.2%	1,799	3.4%	▲ 34,277	▲1.1%	8.0	8.1	▲ 0.1	▲1.2%	高松	19.0℃	▲0.3℃
九州	13,993,253	698,990	14,692,243	13,871,983	691,892	14,563,875	121,270	0.9%	7,098	1.0%	128,368	0.9%	8.3	8.2	0.1	1.2%	福岡	19.2℃	▲0.8℃
沖縄	1,735,712	12,098	1,747,810	1,601,382	12,728	1,614,110	134,330	8.4%	▲ 630	▲4.9%	133,700	8.3%	6.1	5.7	0.4	7.0%	那覇	23.8℃	▲0.9℃
全国	87,131,970	7,965,905	95,097,875	88,019,396	7,687,537	95,706,933	▲ 887,426	▲1.0%	278,368	3.6%	▲ 609,058	▲0.6%	9.1	9.1	0.0	0.0%	全国	18.3℃	▲0.3℃

参考　2025年(1月－9月)累計　一般ガス事業のガス販売量実績

出典：経産省iP

		当年1月－9月	前年同期	増　減	前年比（%）
お客さま件数（千戸）	家庭用	245,089	243,138	1,950	0.8%
	商業用他	10,748	10,744	4	0.0%
	計	255,837	253,883	1,954	0.8%

		当年1月－9月	前年同期	増減	前年比（%）
ガス販売量（千㎥）	家庭用	6,677,905	6,995,645	▲ 317,741	▲ 4.5%
	商業用他	21,447,150	21,988,048	▲ 540,898	▲ 2.5%
	計	28,125,055	28,983,694	▲ 858,639	▲ 3.0%

（41.8605MJ=1万kcal換算）

2025年度
第4回業務委員会
資料(参考)№12-2

ガス事業生産動態統計の概況
（ガス小売事業（特定ガス発生設備においてガスを発生させ、導管によりこれを供給するものに限る。））

（令和7年8月分）

資源エネルギー庁
電力・ガス事業部
ガス市場整備室

令和7年8月分のガス小売事業（特定ガス発生設備においてガスを発生させ、導管によりこれを供給するものに限る。）の総生産量（販売量）は、対前年同月比94.5%、調定数は、対前年同月比99.2%、平均販売量は、対前年同月比95.3%だった。

（１）供給地点群数等

供給地点群数及び供給地点数は、それぞれ7,195（対前月より地点群増減なし、対前年同月比99.8%）、1,796,412（対前月より255地点減少、対前年同月比99.6%）となった。

（２）需要家メーター取付数等

需要家メーター取付数は、1,313,171個（対前年同月比99.7%）で対前月193個の減少（対前月比100.0%）、調定数は、1,067,235件（対前年同月比99.2%）で対前月201件の減少（対前月比100.0%）、そのうち家庭用需要家メーター取付数は、1,301,482個、調定数は、1,058,393件である。

（３）総生産量（販売量）

総生産量（販売量）は、5,171,266㎥で、そのうち家庭用は、4,477,359㎥（構成比86.6%）となっている。

平均販売量

時間軸コード	年月	経済産業局名	生産量（販売量） 対前年同月比	生産量（販売量） 対前年同月比	平均販売量	平均販売量	平均販売量
			家庭用	総販売量	2024年8月	2025年8月	対前年同月比
			%	%	㎥／月	㎥／月	%
2025000808	202508	北海道局	93.32	96.01	4.22	4.09	96.88
2025000808	202508	東北局	90.32	92.12	6.65	6.2	93.21
2025000808	202508	関東局	94.05	95.31	5.71	5.49	96.01
2025000808	202508	中部局	93.41	93.65	5.18	4.88	94.15
2025000808	202508	北陸支局	91.08	91.95	4.79	4.43	92.59
2025000808	202508	近畿局	93.45	93.72	4.72	4.49	95.24
2025000808	202508	中国局	88.29	89.21	4.57	4.11	90
2025000808	202508	四国局	96.19	96.25	4.23	4.11	97.15
2025000808	202508	九州局	95.5	94.9	4.51	4.31	95.49
2025000808	202508	沖縄局	110.47	110.24	3.6	3.93	109.04
2025000808	202508	全　国	93.78	94.49	5.09	4.85	95.25

ガス事業生産動態統計集計表（令和7年8月分） 総括表

項目1	項目2	項目3	単位	北海道局	東北局	関東局	中部局	北陸支局	近畿局	中国局	四国局	九州局	沖縄局	い号合計	ろ号合計	合　計
供給地点群数			個	347	591	2,016	657	269	959	589	356	1,194	217			7,195
	(うち圧縮天然ガス)		個	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0			21
供給地点数			個	141,529	151,379	518,015	176,549	57,902	202,830	134,841	72,620	304,406	36,341			1,796,412
	(うち圧縮天然ガス)		個	0	0	4,030	0	0	0	0	0	0	0			4,030
原料	月始在庫量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	7,025,147	9,340	7,034,487
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	受入量		kg	850,221	1,121,195	3,274,680	1,021,613	246,427	945,858	579,270	317,581	1,664,779	247,967	10,254,373	15,218	10,269,591
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	38,805	0	0	0	0	0	0	0			38,805
	消費量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	4,879,286	17,503	4,896,789
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	過欠補正		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	168,918	−629	168,289
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	月末在庫量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	7,011,738	6,426	7,018,164
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
需要家メーター数	家庭用取付数	取付数	個	95,783	111,774	368,075	126,457	36,539	151,746	91,441	56,864	227,208	35,595			1,301,482
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	3,474	0	0	0	0	0	0	0			3,474
		調定数	個	78,165	88,652	310,157	106,594	27,978	115,248	72,254	41,572	185,939	31,834			1,058,393
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	2,964	0	0	0	0	0	0	0			2,964
	商業用	取付数	個	1,511	1,269	3,552	752	278	716	264	133	654	20			9,149
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0			16
		調定数	個	851	925	2,771	617	188	563	208	69	574	14			6,780
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0			15
	その他	取付数	個	478	312	403	197	74	238	257	23	543	15			2,540
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
		調定数	個	385	266	340	147	61	181	211	18	443	10			2,062
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	計	取付数	個	97,772	113,355	372,030	127,406	36,891	152,700	91,962	57,020	228,405	35,630			1,313,171
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	3,490	0	0	0	0	0	0	0			3,490
		調定数	個	79,401	89,843	313,268	107,358	28,227	115,992	72,673	41,659	186,956	31,858			1,067,235
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	2,979	0	0	0	0	0	0	0			2,979
生産量 (販売量)	家庭用		m^3	253,732	407,809	1,469,958	476,784	103,591	480,286	268,020	165,176	728,511	123,492			4,477,359
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	36,436	0	0	0	0	0	0	0			36,436
	商業用		m^3	42,745	99,466	194,312	39,409	12,652	20,823	8,720	1,995	26,699	1,083			447,904
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	1,380	0	0	0	0	0	0	0			1,380
	その他		m^3	28,390	49,571	54,563	7,718	8,929	20,208	21,902	4,130	50,080	512			246,003
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	計		m^3	324,867	556,846	1,718,833	523,911	125,172	521,317	298,642	171,301	805,290	125,087			5,171,266
	(うち圧縮天然)		m^3	0	0	37,816	0	0	0	0	0	0	0			37,816

ガス事業生産動態統計の概況
（ガス小売事業（特定ガス発生設備においてガスを発生させ、導管によりこれを供給するものに限る。））

（令和7年9月分）

資源エネルギー庁
電力・ガス事業部
ガス市場整備室

令和7年9月分のガス小売事業（特定ガス発生設備においてガスを発生させ、導管によりこれを供給するものに限る。）の総生産量（販売量）は、対前年同月比96.8%、調定数は、対前年同月比99.3%、平均販売量は、対前年同月比97.6%だった。

（１）供給地点群数等

供給地点群数及び供給地点数は、それぞれ7,197（対前月より2地点群増加、対前年同月比99.8%）、1,796,367（対前月より45地点減少、対前年同月比99.6%）となった。

（２）需要家メーター取付数等

需要家メーター取付数は、1,312,754個（対前年同月比99.7%）で対前月417個の減少（対前月比100.0%）、調定数は、1,066,561件（対前年同月比99.3%）で対前月674件の減少（対前月比99.9%）、そのうち家庭用需要家メーター取付数は、1,301,071個、調定数は、1,057,750件である。

（３）総生産量（販売量）

総生産量（販売量）は、4,935,121㎥で、そのうち家庭用は、4,265,029㎥（構成比86.4%）となっている。

平均販売量

時間軸コード	年月	経済産業局名	生産量（販売量） 対前年同月比	生産量（販売量） 対前年同月比	平均販売量	平均販売量	平均販売量
			家庭用	総販売量	2024年9月	2024年9月	対前年同月比
			%	%	㎥／月	㎥／月	%
2025000909	202509	北海道局	96.35	97.61	4.06	4	98.51
2025000909	202509	東北局	95.06	94.69	6.17	5.91	95.84
2025000909	202509	関東局	94.27	96.02	5.35	5.17	96.66
2025000909	202509	中部局	92.24	92.83	4.8	4.48	93.33
2025000909	202509	北陸支局	94.96	95.93	4.59	4.44	96.65
2025000909	202509	近畿局	98.58	98.3	4.37	4.37	99.85
2025000909	202509	中国局	98.12	98.74	4.03	4.01	99.51
2025000909	202509	四国局	96.79	96.69	3.99	3.88	97.27
2025000909	202509	九州局	100.89	100.09	4.19	4.21	100.63
2025000909	202509	沖縄局	103.42	103.37	3.61	3.68	102.13
2025000909	202509	全　国	96.34	96.85	4.74	4.63	97.58

ガス事業生産動態統計集計表(令和7年9月分) 総括表

項目1	項目2	項目3	単位	北海道局	東北局	関東局	中部局	北陸支局	近畿局	中国局	四国局	九州局	沖縄局	い号合計	ろ号合計	合　計
供給地点群数			個	347	591	2,016	657	269	958	589	357	1,195	218			7,197
	(うち圧縮天然ガス)		個	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0			21
供給地点数			個	141,521	151,375	517,899	176,555	57,902	202,589	134,841	72,729	304,513	36,443			1,796,367
	(うち圧縮天然ガス)		個	0	0	4,030	0	0	0	0	0	0	0			4,030
原料	月始在庫量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	6,893,188	6,426	6,899,614
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	受入量		kg	857,066	1,181,887	3,447,623	1,077,902	244,635	1,029,985	646,907	394,166	1,737,658	237,067	10,831,396	23,500	10,854,896
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	33,485	0	0	0	0	0	0	0			33,485
	消費量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	4,750,005	23,145	4,773,150
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	過欠補正		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	50,029	3,121	53,150
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	月末在庫量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	7,224,036	9,902	7,233,938
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
需要家メーター数	家庭用取付数	取付数	個	95,710	111,721	367,849	126,359	36,497	151,668	91,371	56,973	227,226	35,697			1,301,071
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	3,474	0	0	0	0	0	0	0			3,474
		調定数	個	78,052	88,511	309,934	106,533	27,912	115,125	72,232	41,592	185,984	31,875			1,057,750
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	2,957	0	0	0	0	0	0	0			2,957
	商業用	取付数	個	1,511	1,267	3,551	747	279	713	264	133	652	20			9,137
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0			16
		調定数	個	851	923	2,747	616	189	562	209	69	571	13			6,750
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0			15
	その他	取付数	個	478	313	404	197	78	238	259	23	541	15			2,546
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
		調定数	個	385	264	338	147	63	181	213	18	442	10			2,061
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	計	取付数	個	97,699	113,301	371,804	127,303	36,854	152,619	91,894	57,129	228,419	35,732			1,312,754
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	3,490	0	0	0	0	0	0	0			3,490
		調定数	個	79,288	89,698	313,019	107,296	28,164	115,868	72,654	41,679	186,997	31,898			1,066,561
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	2,972	0	0	0	0	0	0	0			2,972
生産量 (販売量)	家庭用		m^3	254,055	398,441	1,373,895	431,469	98,078	462,589	261,627	155,855	713,168	115,852			4,265,029
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	31,516	0	0	0	0	0	0	0			31,516
	商業用		m^3	37,991	86,680	184,956	38,578	11,117	22,695	8,489	1,794	26,179	1,078			419,557
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	1,231	0	0	0	0	0	0	0			1,231
	その他		m^3	24,838	44,893	59,032	10,570	15,777	20,564	21,535	4,023	48,788	515			250,535
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	計		m^3	316,884	530,014	1,617,883	480,617	124,972	505,848	291,651	161,672	788,135	117,445			4,935,121
	(うち圧縮天然)		m^3	0	0	32,747	0	0	0	0	0	0	0			32,747